京城日報

本紙定價　壹箇月金七十五錢▲郵税…　廣告料金　五號十五字詰一行一圓…　發行兼編輯人　奥田直毅　印刷人　小川三之介　發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社　電話番號　編輯　六千九番　…

二月二十六日夕刊（朝夕併せて八頁）

第四十一回帝國議會

衆議院本會議（二十五日）

選擧法改正案委員附託

（朝刊より續く）再び岩崎勲氏（政友）の動議に依り

佛首相クレマンソー氏に對し慰問狀發附の件

附議小川平吉氏（政友）登壇、滿場一致委員會可決の旨を報告し決議文朗讀可決確定次いで

大正六年法律第六號中改正法律案

漆昌巖氏（政友）委員會經過報告原案可決確定次に

時局の影響に依る地方税制限擴張に關する法律案

高等商業學校增設及擴張費支辨に關する法律案

右二案一括三土忠造氏（政友）委員會經過報告採決前質問に入り大津淳一郎氏（憲政）本案は改善にあらずして改惡なりと大聲疾呼し議場騒然たりしが岩崎勲氏の動議に依り議會省略滿場一致時局の影響に依る地方税制限擴張に關する法律案を可決確定す此時高見之通氏（政友）議事進行に就き發言し次いで關口秀雄氏（憲政）政府の計畫には大體贊成なるも其內容に二三希望ありとて之れが希望を述べ之れ亦議會省略可決確定

大正八年度追加豫算（文部所管）齋藤委員長委員會の經過を報告し滿場一致原案可決確定次に

衆議院議員選擧法改正法律案

上程床次內相登壇別項理由を說明し次いで齋藤隆夫氏（憲政）先づ選擧法の歷史を說き今日の我國民より見れば普通選擧にても可なるを何故三圓の納税額とし智識階級に及ぼさゞりしや而も小選擧區制は絕對反對なり又別表改正案も一黨一派に偏する點多々ありと述べ降壇床次內相之に對し反駁を試み次に野村嘉六氏（憲政）の改正案逐條的質問に對し內相の應答あり終つて今井嘉幸氏（無所屬）普通選擧論を唱ふるや內相將來はいざ知らず今日の情勢にては之れを以て適當とすと述べ最後に齋藤隆夫、今井嘉幸氏等對床次內相間に質問應答あり之れにて質問終了議に提出されたる選擧法改正案と同一委員附託に決し午後六時三十分散會す（東京特電）

▼床次內相說明

選擧法改正案

政府は現下政局の大勢に鑑み立憲政治の運用を全うする爲め選擧法改正の必要を認め本改正案を提出せり主なる事項如左

（一）選擧擴張の爲め納税額を三圓とし此結果現在有權者百四十萬人に對し二百八十六萬人となれり又納税年限は總て一年とし地租以外の直接國税も同樣とし尙選擧權の得喪上名簿調製期日を限界とせり

（二）選擧區は現下の情勢に鑑み小選擧區とす其利益は運動費の減少同士打ちの弊を除き得る事、選擧人の政治思想發達、選擧の結果公平、補缺選擧に煩累無し議員をして不覊の論議を盡さしむるに便なり

（三）補充議員の規定を改め特別の場合を除き再選擧、補缺選擧を爲す

（四）罰則改正

（五）選擧法別表を改正し人口十三萬人に對し一人の割尙改正選擧區は行政區劃、地勢、交通等を標準とし之を區別せり之が爲め改正議員總數は四百六十二人となり現在議員數に比し市部三十六人郡部四十七人の增加なり

◇特殊委員會設置

勞働委員會議事方法審議

講和會議委員會は土曜日（二十二日）午後佛國外務省に開會、勞働、經濟、財政及び司法に關する諸問題の研究を委任せられたる勞働委員會の議事方法に就き審議せり諸新聞紙は附記して曰く講和會議委員會は既に收め得たる其結果の概況を作製し之れが討議に對して論評を加ふべき筈なりと尙講和會議開始以來特殊の事業進捗に從ひ特殊委員會の設置を見るに至れり其一として羅馬尼、チエツク、スロヴアツク、白耳義、並に塞耳維の領土に關する要求を審査すべく而して之れが委員任命せられたるが此等の委員會は全體より見て興味ある若干の提議を爲したり次に講和會議委員會は會議の事業を促進すべき方法問題に着手せり（巴里電報）

◇米國際聯盟論戰

‖上院の反對者半數‖

ウイルソン氏の依頼ありしに拘らず米國上院は十九日既に國際聯盟反對の論戰を開始せり目下上院の反對者は半數にて條約批准に要する三分の二を得るにはウイルソン氏の努力極めて大なるものあるを要す可しと觀測さる（北京發東京ゞ電）

◇米資本代表渡支

米國人アベツト氏は米國資本家を代表し近く北京に赴く可く其用向は（一）塩税三千萬元の正式借款（二）支那鐵道國際管理に就ての意見交換（三）米支大借款を起す事等なり（北京著‖東京特電）

◇國葬參列各官廳代表

▲宮內省　勅任代表帝室會計審查局長官倉富勇三郎、奏任代表宮內秘書官木村雄三郎▲外務　特命全權公使（無任所）內田定槌副領事（無任所）五明砂▲內務　監察官參事官阿部滂擧、技師池田圓男▲大藏　技師工學博士丹羽鋤彥、佐藤五郎▲海軍　中將東鄕吉太郎　機關大佐緊村義一▲司法　東京地方裁判所長牧野菊之助、司法省參事官籍山精一▲文部　東京帝大教授理學博士池野成一郎▲農商務　技師黑岩休太郎、田子勝彌▲遞信　書記官影山銑三郎、參事官桑山鐵男▲會計檢查院　第一部長河野秀男副檢查官武藤榮治郎▲行政裁判所　評定官俊達謙吉、同澤田竹次郎▲樞密院陸軍、貴衆兩院は公務多端の爲め代表者參列無し

◇森山茂氏卒去

正四位勳二等錦鷄間祗候貴族院議員森山茂氏は流行性感冒の爲め廿五日卒去せり享年七十有九（東京特電）

▲略歷　故森山茂氏は奈良縣平民當時顯次の長男にして天保十二年一月廿五日を以て生る先代森山茂次の養子となり家督を相續す明治二年仕官して外務小錄より外務大丞に進み爾來元老院大書記官同議官貴族山縣知事等に歷任し官命を帶びて朝鮮、差遣せらるゝ事四回に及び同廿七年貴族院議員に勅選せられ現に其任に在り又錦鷄間祗候仰付らる曩に同四十年九月日露事件の功に依り勳三等旭日中綬章を次いで大正三四年事件の功に依し更に勳二等瑞寶章を授けらる

◇政務總監通過

倉富氏同行

山縣政務總監は二十六日朝釜山上陸鐵道ホテルに休憩の上午前十時三十分發列車にて北行午後九時十分着城すべし尙帝室會計審查局長官倉富勇三郎氏も同時に上陸一行と同行せり（釜山特電）

◎朝鮮經濟界概觀（一）

‖總督府度支部調查‖

客年中に於ける朝鮮經濟界の概況を見るに歐洲戰局は米國參戰の進展に連れて愈擴大し聯合各國戰時經濟政策に基づく貿易上の支障は累加して止まず船腹の不足運賃の昂騰益甚だしく假へば大正七年貿易汽船の入港數は前年に比し二十三萬四千噸を減し仁川阪神間の

▲穀類運賃の　如き百石に付大正六年末の二百圓より一時百六十圓に低下したるもの六月に入り一躍二百二十五圓に上り西伯利出兵に伴なふ鐵道の特別輸送と相俟ちて貨物の運輸を妨げ企業材料の輸入難に伴なふ一部產業の打擊勘からざりしが如く從つて一般物價は昂騰の勢ひ底止する所なくこれを京城に於る重要物價指數に徵するに大正六年十二月の總平均一八三なりしもの七年十一月に於ては二四六となりて實に三割四分強の昂騰を示せりされど其の間講和氣分は漸次濃厚の度を加へ十一月に至り愈休戰條約の成立を告ぐるや今局染料藥品等時局關係品の相場は慘澹たる崩落を演じ之れ等の影響尠少ならざりしが

▲一面に於て　多年の懸案たりし日本海橫斷航路は愈開始せられ北鮮方面の交通に一新紀元を畫し其他鐵道對釜山商會この釜山阪神間穀類連帶輸送開始各地輸送上の障害を緩和せしのみならず新穀出盛り期に及びては休戰後海運界不況の結果貿易船の入港頓に增加し運賃も自然弱含みを呈せり而して大正七年の貿易は輸移出の大宗たる米穀相場の奔騰により之が移出旺盛にして前年に比し三千四百餘萬圓の激增を來したるのみならず繭は前年に比し二萬四千石の增收なりしに加へ價格は春騰に於て一石に付き二十圓方の

▲高値を示し　繰綿亦前年增收の後を享けたると相場の昂騰より出荷多く其他魚類鐵鑛元豆黃生產等孰れも好況なりしこと輸移出貿易額は一億五千五百九十萬圓の巨額に上り前年に比し七千餘萬圓の增進を告げ一方輸移入貿易亦事業界の盛況購買力の增進米價騰貴等より事業用品綿布米其他諸雜貨の需要多かりし爲め一億六千萬圓に達し前年に比し五千六百萬圓の增進を示せり次に事業界の盛況を窺ふに事業計畫は引續き旺盛にして本年中に於ける會社資金は新設九百八十九萬七千圓擴張千四百三十一萬二千圓合計二千四百二十萬九千圓を算し之を大正六年に比すれば新設五百七十九萬九千圓擴張七百六十二萬七千圓を增加し合計千二百七十萬七千圓に上り隨つて大正七年末現在に於ける諸會社は

▲二百六十八　社　其の拂込資本金一億六萬七千圓を算し之を大正六年末に比すれば二十社二千二百九十五萬五千圓の激增なりとす其他釜山に於ける兵工廠建設工事を始め政府及び民間の諸工事旺盛にして內地資金の流入多く事業界の盛況に關聯して勞銀の撒布增加せるのみならず勞働賃銀の昂騰を促し勞銀指數は前年十二月の平均一一〇なりしもの大正七年十二月には一五一となりて四割強の騰貴を示せり更に朝鮮に於ける主なる銀行會社十五社に就き同年上半期の營業成績を觀るに其拂込資金に對する純益步合は七分七毛にして之を六年上半期の五分九厘七毛同下半期の六分五厘九毛に比し成績良好なるを見るべく以て本年朝鮮に於ける財界好況の一斑を窺ふに足るべし

◎長距離電話架設方請願

‖平壤安東間鮮滿連絡線‖

安東商業會議所にては豫て平壤安東間長距離電話架設に關する件に就き其筋に陳情する所ありしが本月二十二日再び安東商業會議所會頭中野初太郎及び平壤商業會議所會頭大橋藏兩氏の名を以て朝鮮總督府及び關東都督府に

▲請願書を提出　する所あり京城商業會議所に對しても本件に關し相當盡力方を依賴し來れるが右長距離電話架設に關する請願書の內容を聞くに平壤安東間長距離電話架設の件に關しては先年來屢當局諸彥に懇請する所ありしものにて內鮮併合實施後爾來今日迄年を累ぬる事九度月を閱せる事一百有餘の長日月に亘るも未だ其の實現を見るに至らざるは誠に遺憾とする所なり想ふに通信機關の完否如何は啻に商民の利害休戚に關するのみならず

▲政治上軍事上　共に多大の關係を有する事今更喋々を要せざる所にして殊に安東商業會議所は奉天商業會議所と提携して安東奉天間長距離電話の架設を請願し第四十回帝國議會に於ても既に可決採決に決したるを以て關東都督府に於ては之れが豫算を計上して今次の議會に提出し通過を俟し急速架設に着手する事に決定せる趣を聞知せり是れに依つて在滿邦人の通信機能は稍具備するに至るべしと雖も一面

▲鮮滿の連絡　幹線たる平壤安東間の通話施設は何れの日に實施せらるべきや今尙逆睹すべからざるものあり然るに其施設の必要なるは既に幾度か登論し當局諸彥に於ても亦同じく是認せらる所にして之れが實行の如何は單に時機の問題に過ぎざる邊明せられたる所なるも一般の期待よりせば實施の時機は既に遁逸せるの感あり寧ろ其の遲延の甚だしきを憾みつゝある次第にして殊に近鮮滿兩地の經濟關係が著しく密接となりたる點より稽考し將又戰後に於ける邦人大陸經營上より思考するも極めて緊要なるは通信交通の機關を完成するに在ることを俟たざる所にして日に月に其必要を感ずる次第なるを以て冀はくば

▲四圍の狀勢　に鑑み電話架設の儀至急實施せられ以て鮮滿の通信連絡を容易ならしめ延ては產業貿易の發展を助長し兼て國民の扶殖と國威の伸展に資せられん事を翹望して熄まずと言に在り

◎金融狀況

大正七年末に於ける

朝鮮各金融機關狀況は別表の通りにて其の運轉資金總額は四億七百二十六萬餘圓に達し前年に比し一億九千四百三十萬餘圓を增加し更に之を明治四十三年末に比すれば三億四千百六十萬餘圓の激增となり同年末の六倍二分強に達せり（圓單位）

科目	四十三年	大正七年末
運轉資金總額	六五、六五三、三九七	四〇七、二六六、一〇一
拂込資本金	九、五五九、八〇〇	三七、六七六、三一四
積立及繰越金	五四〇、八七八	五〇三、八五四
銀行券發行高	二〇、一六五、九〇〇	一一五、三三〇、七一
預り金	一八、六四七、三九九	八〇、七〇二、一五八七
工業及拓殖資金貸附	一、四〇六、七二六	三、六三六、七七六
諸貸出高	三五、八一六、五四〇	二一四、一〇三、四一九

◎學務主任打合會（第三日）

學務主任打合會第三日は二十六日午前十時より總督府第二會議室に於て開會前日に引續き各主任よりの聽取事項の報告あり午後四時三十分散會せり

◎賜物勅使參向

子爵任善準氏逝去に付き二十六日午前十時村田總督附武官は宍戸屬を從へ賜物勅使として同邸へ參向したり

◎國葬日は休廳

李太王殿下國葬儀を執り行はせらるべき三月三日は總督府を始め京城府內所在一般官署は休廳のことに決定せり

◎國葬諸員着期

李太王殿下國葬に就き關係諸員來鮮の豫定日左の如し

▲朝香宮殿下（三月一日午后九時十分）▲倉富勇三郎氏（二十六日）▲野田遞信大臣▲影山遞信監察官▲桑山秘書官▲古賀拓殖局長官▲日根野勅使▲三宮戸皐后宮主事（以上二十七日）▲秋山陸軍大將（二十八日）

◎西貢米六萬噸の輸出特許說

京城各所入電

西貢米の輸出月額二萬噸と傳へられしもの今回六萬噸に增加せりとの報は未だその實否を確的に知り難きも二十五日に於る內地各市場の定期並に正米安は鮮米軟弱の爲めのみにあらざる如きが今西貢米の輸出特許擴張問題に付市中有力方面に達せる情報の聞くに左如し

西貢米今後每月六萬噸を限り輸出解禁を見るに至りたりとの說により外米筋の買物多く定期並に正米市場は暴落せり（二十五日某所着電）

西貢米六萬噸解禁に關し外務省通商局商工課長に質問したるに右は何等の通報なし從つて虛僞不明なりとの答へあり又農商務省外米課に就て聞くに同省へも何等入電なし但し民間への電報は官廳への電報より早きを常とするが故に一概に僞りと云ひ難し（廿六日朝）

西貢米二萬噸の輸出特許數量を六萬噸に擴張されたりとの入電あり但し未だ確實の筋には通報なきも恐らく事實なるべし（神戸特電）

▲消息通談　西貢米が月々六萬噸の輸出を特許し而して其の大部分を日本に仕向くるものとすれば內地の米穀不足は概ね緩和するものと見得べし又支那米の輸入も若干量を期待するを得る現狀に加ふるに米價は久しく高値を持續し來りしに付鮮米引緩み內地市部に入るもの出廻り並に不買れ等により米界は一轉して硬勢より軟勢に向くやも計り難し唯西貢米の巨量を輸入するとしてもその買付値が幾何なるか內地米緩落せば當然不引合となり輸入杜絕すべく外米輸入杜絕すれば內地米の上向きとなる事旁目先若干程度の軟勢を持續するともその程度は激甚を望み得ざるべき乎

◎期米小反撥

連日安の仁川期米も二十五日後場より小反撥の氣勢あり內地各市場安に頓着なき買方の買進みあり二十六日前場は寄附三十七圓十錢高値三十七圓三十三錢の止めとなり自然高步調にて小反撥の模樣なり

◎葉煙草の昂騰

南鮮地方に於ては貢不良のため主要地よりの出廻り減じ一方製造所に對する一般葉貨の供給不足見越等により葉貨の市價は舊臘一方にて昨今の市價は之れを舊臘に比すれば九六圓方の昂進を來せりと

第四十一議會植民地問答（六）

第四十一議會の本會議、豫算委員會等に於ける朝鮮滿洲其他植民地並に直接地方に關係せる質問應答の中重要なるものを掲ぐ。必ずしも前後の順序に次第を附せず（東京支局）

□開墾助成法案と朝鮮（四）

‖衆議院開墾助成法案委員會にて‖

▲牧山耕藏氏　內地に於ては開墾助成法が出來て、特別の保護を加へられるのに、矢張植民地に於ては言ひながら全く反對に、借地料を取られると云ふやうな事は、私抑止めになつた方が宜くはないかと斯う云ふ風に考へるのであります、收穫を得るやうになつた後ならば、それに利益のある部分を納めますると事は困難ではありませぬけれども、朝鮮の開墾と云ふものは頗る內地に比して、尙は困難な事情もあるのでありますから、今日の產米增加を政府も國民も力を盡して居る此際でありますから、斯樣なものを撤廢されて寧ろ進んで內地と同樣に、開墾獎勵位は補助を致してやる、或はしてやると云ふやうな方法を採られると云ふと、內地と植民地とが同じやうに政策も徹底して行つて、產米も增加し、其目的が遂げらるゝであらうと思はれるのであろ、念の爲めに伺つて置きますが、朝鮮の未開墾地開墾に關しては、今後特に保護政策は採らないと云ふ考でありますか、更に次に御尋ねしたいのは金肥の使用であります、朝鮮には肥料の使用が少いのであります、是が行渡りさへすれば、今日千二百萬石位いものが、二百萬石や二百五十萬石を殖すは何でもないと云ふ事は、東洋拓殖會社、其他の農事會社、及、篤農者の調查に依つて明かであります、總督府は此點に關しては殆ご何等力を用ゐられて居りませぬやうに見受けるのでありますが、寺內內閣の當時には、米價調節策に二千萬圓を使つて居る、朝鮮に金肥を五百萬圓なり、八百萬圓なり入れさへすれば、千六百萬圓の增收を得る事は、疑のない話である、さうすれば是に三百萬石金肥の使用に依つて朝鮮の產米が增加致しますれば、それが所謂食糧米となつて內地に輸入する事が出來て、食糧問題の解決に非常なる力を添へる譯でありますが、僅に十五萬圓、向ふ十個年に百五十萬圓か二百萬圓位の補助を與へ、開墾も金肥も何も關係なく、唯水利の工事費のみに補助さるゝ事で、極めて消極的な遣方で、唯今申すやうな開墾の方面にも大に保護し、水利に對してもどんどん事業を起させ、更に進んで金肥を使用せしむると云ふ事に、總督府が力を用ゐられまするならば非常な三百萬石の年收を殖すと云ふ事は何でもない話でありまして、此點に付ては居る者が見ますれば問題でないのであります。然るに私から申しますれば極めて冷淡な消極的政策を執られると云ふ事は、甚だ心得ぬのでありますが、朝鮮總督府でもしば更に進んで開墾水利金肥の使用等に付ても、更に大な積極方針を執られると云ふ御考はないのでありますか

▲政府委員（鈴木穆氏）　國有未墾地の開墾に料金を取るのを廢めたらどうかと云ふ御話のやうでありますが是は尙は能く研究を致す事に致したいと思ひます、併し今日の料金は餘り此開墾を妨げると云ふ程のものでもありませぬ、又多少そこに料金がなければ徒に出願を爲して其の實行上甚だ不確であると云ふ虞れもありますので、尙は調查する事に致したいと思ひます、第二の……

▲牧山耕藏氏　それは約定期限がありますし、約定期限內に着手しなければ取消す事が出來るのであります

人事

▲向坂幾三郎氏（水原模範場技師）二十六日入城▲久保到氏（全北一部長）同上▲佐々木正太作氏（平北一部長）同上▲笠原寬氏（忠北一部長）同上

▲笹原寬氏　二十六日午後七時五十分南大門驛發東上

▲淸水政紀氏（總督府技師）二十五日附七日間の豫定を以て忠淸南道管內へ出張を命ぜらる

▲野田四郎氏（總督府技師）同日附十日間の豫定を以て高陽郡管內へ出張を命ぜらる

▲上田駿一郎氏（總督府視學官）同日付十八日間の豫定を以て黃海道平安南道管內へ出張を命ぜらる

八面鋒

◆對獨新休戰條約は、獨逸軍隊を二萬五千と限定し、軍需品原料及び製造所を聯合軍に於て、受理すべしと報ぜらる。曾て聯合國最高軍事會議に於て、フオツシユ將軍が激怒せしは、英米側が、獨逸國民に、生活上の壓迫を、之れ以上苛酷ならしむべからずと主張せしに由る。

◆フオツシユ將軍の意見、即ち佛國の意見としては、獨逸が步兵廿五師團、騎兵五師團を常備せんとするが如き硬論は、佛國に取りては一日も安閑を得ざる處也、如かや所の如くんば、今に於て直らに休戰を破棄して、再び戰端を開くにありと云ふにありて、將軍が椅子を蹴つて去りしも、本意見の貫徹せざるに在りたり。然れども其の翌日締結せられたる條約に依れば、事實は佛國側の勝利となりて現はれたり。

◆勝利は力なり、努力なり、遠慮や、沈默は、勝利を齎すべく、餘りに迂遠なり、勝利は自己の腕に由つて收めざるべからず。講和會議に於ける行動は、フオツシユ將軍が、好模範を示せるに非ずや。

◆クレマンソーの容態は、外電屢々相違を傳へて、其の眞相を知り難し。如何に健全なればとて、兎に角七十九歲の老齡なり、殊に彈丸肺部に入ると云へば其う速に快癒するものに非ず。然れども彼や意氣の男也、老來元氣未だ旺盛なるが故に、所謂氣で勝つかも知れず、希くは速かに再び講和議會壇上に其猛虎の風姿を現はさん事を。

◆某外交通の評に曰く、國際聯盟はウイルソン君の編輯人にて、ロイド、ジヨージ君が發行人、クレマンソー君の印刷人にて、發行したる一種の新聞也。然るに出來上りたる新聞紙が、何人にも不滿足にて、編輯人も發行人も、遂く不足を並べ居る處を見れば、永續はおぼつかなかるべし。何となればウイルソン君が社長と成り得じ、ロイド、ジヨージ君が、主筆を棒に振れるより、內輪爭ひにて結局は廢刊に至らずんば幸なりと。評言の當否は知らずと雖も、クレマンソー君の兇變に逢へるの日、一所心細からざるを得ざる也。

眞鍮品鑄造

鍱番。取手。落類其他何デモ御下命通リ迅速安價ニ出來マス

京城本町一丁目　金物商　佐野彥藏商店　眞鍮品鑄造工場

大正　金の成る木　無代進呈　合資會社堂島信託所　浪速橋出張所　大阪北區樋上町七十九

捕雀用極上等綱糸製　カスミ網

前金に限り送料引換代金　送料貳拾貳錢

朝鮮京城永樂町　吉備商會製網部　電話三一四番　振替京城四三八番

捕雀の時季は今です　カスミ網は小供でも張れます一度に數十羽位は容易く捕れますから晩餐の御菜のみでなく樂みと運動にもなります

商標　たべておいしくつて徳用「改良麥」

田代商店改良麥製造部　田代商店米穀部　田代商店牛皮貿易部

釜山府榮町四　電話二九四番　振替京城五六〇三番

嚴寒の温身飲料として天下一品　強壯飲料として牛乳の二十倍

家庭用蔘乳一瓶金壹圓廿錢

驚べく蔘乳の偉力

每朝夕配達蔘乳一合金六錢

朝鮮人蔘乳化飲料　專賣特許既願

平山藥學博士證明　五大醫學博士御賞讃（說明書無代進呈）

蔘乳は高麗人蔘を植物性乳素と共に化學的乳化したる芳香甘味の蔘乳にして萬人共通の理想的強壯飲料なり進物に好適す

製造元　元山府旭町通二丁目　朝鮮蔘乳社本店　電話四五五番　振京四三七一番

營業開始

小生儀永年京城於義洞公立簡易工業學校ニ奉職中ノ處都合ニ依リ其職ヲ辭シ今般左記ノ所ニ工場ヲ設ケ優良ナル職工ヲ聘シ材料ハ精選ノ上特ニ堅牢ヲ本位トシ幾多ノ研究ト工夫トヲ重ネ永久ノ使用ニ耐ユル左記ノ製作業ヲ開始仕候ニ付大方ノ諸彥奮テ御用命ノ程奉願上候

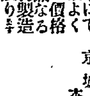
營業課目

◎學校用具―學校机、黑板、敎卓、陳列棚、事務机、書類箱、掛札、ストーブ、其他學校具一切

◎體操器械―肋木、跳棒、平行棒、跳箱、高飛棒、吊棒、吊繩、攀登棒、雲梯、廻旋塔機、其他運動具一切

◎室內裝飾品―椅子、卓子、棚類、箪笥、花臺、飾棚、額縁、簿記机、窓掛其他一切

和洋家具室內裝飾　學校用器具製造販賣　京城本町三丁目　松本製作所　主　松本太造　電話一四八九番・振替京城六三八番



タンスは堅牢にて體裁よく且つ價格の廉なる津村製造に限ります

京城本町四丁目　本町停留所より西へ半丁　津村箪笥店　電話一六七〇番

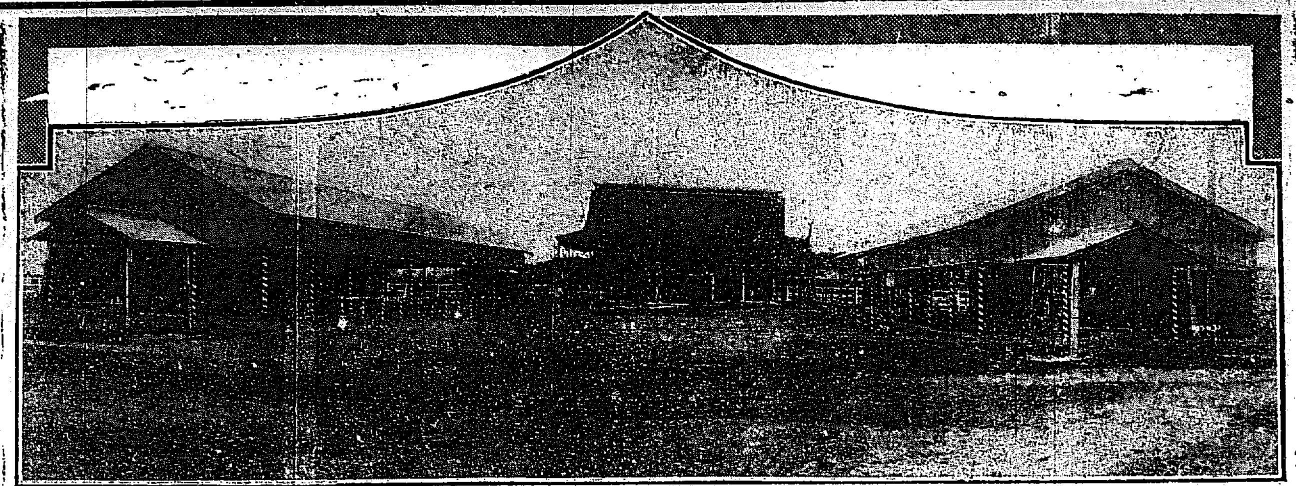
荷物自動車

時代の要求に應じて荷物運搬用自動車數臺を購入して左の場所に於て諸荷物運搬業を開始し荷物の大小を論せず迅速安全低廉且親切を旨とし大方の御依賴に應じ可申候（市內乘用貸切自動車の設備も有之候）

京城忠州春川間隔日往復

京城府黃金町一丁目一八一番地　東洋荷物自動車商會　電話四六三番

大正七年七月一日改正現行



殆ど竣成した國葬場（二十六日）

○發引―返虞の諸儀
―國葬儀以外に執行―

國葬儀の外李王家にて執行せらるべき發引より返虞に至る間の諸儀左の如く內定せり

三月一日午前八時三十分啓殯奠（朝奠兼行）▲九時啓殯後別奠（晝上食兼行）▲十二時晝茶禮▲午後三時五十分夕上食▲四時祖奠（夕奠兼行）

三月二日午前六時卅分遣奠（朝奠朝上食兼行）▲七時三十分梓宮移于小輿（光明門外）▲八時十分梓宮移奉于大輿（大漢門外）▲八時三十分大輿進發▲九時神帛奉出安於神輿（國主同）▲九時三十分神帛輿進發▲午後一時三十分大輿到葬場進發▲午後二時四十分路祭（清涼里）▲五時晝停奠（上食兼）▲到陵所隨時成殯奠（夕上食兼行）

三月四日午前八時三十分朝奠▲午九時朝上食▲十二時晝茶禮▲午後三時五十分夕上食▲四時夕奠▲六時三十分遷奠（啓殯）▲七時虞主神帛同安于腰輿移奉于吉帷宮▲七時三十分梓宮移奉于小輿（自殯殿）▲八時三十分梓宮移奉于襲家內解雲▲九時梓宮移奉于退壙上奉▲十時下玄宮▲十時三十分贈玉▲十時五十分謝後土祭▲十二時初虞祭

三月五日午前九時▲朝上食▲十時返虞進發▲午後二時三十分晝停奠（忘憂里）▲七時虞主奉安于魂殿▲七時三十分夕上食▲十二時再虞祭

▼參列を許さるべき諸員

飲葬當日參列を許さるべき諸員は高等官、同待遇者、有爵者、有位者、勳者、貴族院議員、衆議院議員、門跡、寺院住職、勅任官、同待遇、京城商業會議所會頭、同副會頭、京城府內中學校高等女學校高等普通學校及び女子高等普通學校校長以上の私立學校長、褒章受領者、紳學博職員講士、各教宗派管理者及び三十本山住持、京畿道、京城府、高陽郡、楊州郡各參事、京城學校組合議員及び京城府協議會員にして又其の他の諸員として參列すべき者は京畿道以外の各道參事一名宛、特殊會社重役、辯護士會長及び同副會長、赤十字社及び愛國婦人會役員各新聞社代表者、李王職の雇傭人にして特に緣故ありと認め同職より申出ありたる者等なるが以上の內宮中席次其の他に依り席次の定めあるものは隨意其位地に入らしむべしと

○國葬儀の大荷物
事務所に木の香新し……

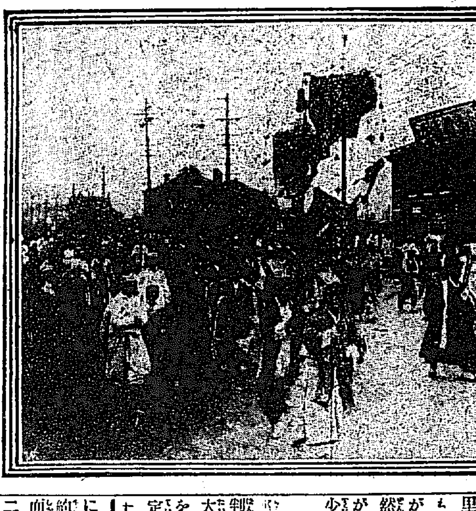
國葬事務所の玄關には二三日前から引續き東京高田商會出しの大荷物が所狹き迄に搬び込まれて居る之は國葬用の葬具であるが木の香新しい數個の三寶、銀色燦たる數本の鉾、漆黑の色澤やかな數本の楯、綺羅びやかな黃白各色旗旒の幟類、其他衣冠裝束すべて新調の色鮮かな葬具を以て埋められて居る室もある

○國葬會議再び始まる

一時中斷の姿となりし國葬會議は二十六日午前十時より再び中樞院內國葬事務所に於て開會されたるが當日は伊藤次長、兒島總務課長、宇佐美內務長官、工藤總務課長、佐伯典[illegible]、大木宮內書記官、岡田式部官、仙石宮內事務官、入江拓殖局書記官其他の掛員出席せり

●歌舞音曲停止 國葬儀の當日

三月三日を以て取行はるべき李太王殿下國葬儀當日歌舞音曲を停止せらるべき旨廿七日總督府官報號外を以て公布せらるべし



◆請諡式行列　二十六日故李太王殿下の諡號を宗祖に奉告すべき請諡式の儀が執行された寫眞は二臺の腰輿を送る行列である

○西伯利向の商品
輸入原料品は何か＝鮮露貿易發展の好機＝加藤巡吉氏談（二）

西伯利には一の製紙工場も無い從つて紙類の需要は莫大なものだが朝鮮紙（油紙）は頗る向かない然し朝鮮には製紙原料は豐富なのだから露人向きのものを造つて送れば販路は無限と云つても宜い皮革類も頗る有望である毛織物も私が牛の毛を原料としたものを露人に示した處が是は

◆農夫向き　として至極結構だが何うも染色が氣に喰はぬ所謂露西亞式の保護色的のもので無いと賣れないとのことであつた尚ほ是に羊毛を混入して織つたら一層好評を博するだらうと思ふ。刷子、齒磨用の刷子は技術に熟練した職工を要するけれども羅紗刷毛或は靴刷毛の如く豬の根、馬尾等を材料として製作し得るものは朝鮮の家庭工業としても容易く生産することが出來る、需要程度を示せば現在露國では一箇年約六十萬留位の刷子類を輸入して居る。靴其他旅行具等も獎勵し度いもの一つである殊に

◆婦人用の　ものに意匠を凝したならば彼等の間に流行を作り出すとも出來るだらう。果物もクリミヤ地方に產する苹果は皮が極軟かで食ふ時剝く必要が無い程であるが朝鮮產のものも好評を得るだらうと思はれる、其他梨、桃、杏、葡萄、柿等及び乾し果物にしたもの何れも有望で現今では大部分米國から供給して居る樣である、海產物、鹽物類は支那人向だが鮑の罐詰などは露西亞人も食ふ、西伯利の

◆金鑛地向　きとして適當であらう。其他乾海老、剝き海老等も値段が安ければ需要はある、其他青豌豆、大理石、靴下、ハンカチーフ、綿類等何れも販路を開拓し得る見込がある、以上は私が今回の旅行に携帶して行つて露人の批評を聞いて歸つたものであるが此外朝鮮に幾らでも材料のあるもので胡粉と蚕取粉とを獎勵し度い此等の需要は大したもので馬鹿にならない、胡粉は塗料、硝子接着劑の成形原料となるもので現に胡粉は米から盛んに送つて居るし

◆蚕取粉は　大阪邊から專ら輸出し居る尚ほ人參、[illegible]、鍋磨き、ボイル油、裝飾用金具、[illegible]、石油ランプ用硝子、鈴具、櫻紙、陶磁器、玩具、綿布、綿、生絲、屑絲、絹織物、農具（亞米利加式）、藥品、膠、鰊油、鯨油、胡椒、百合根其他野菜類も相當に有望である、西伯利の現狀では運輸機關の困難はあるが序に彼の地から輸入すべき原料品を擧げると第一は何と云つても鑛物で次に木材、羊毛、[illegible]等は[illegible]である。夫れから私は[illegible]と云へば汚い樣だが服の

◆截ち屑と　云ふ樣なものを買取つたならば從來餘り人の手を著けないものだけに面白くは無いかと思ふ。若毛、大麥、小麥、蕎麥、（歐露方面）中央亞細亞地方からはサントニーネ、大黃、甘草等の需要なる藥草類を多量に產するから是等も注目す可きものであらう

○ク氏狙擊者は過激派の手先

佛首相クレマンソー氏狙擊者は過激派の手先なる事判明せり（巴里電報）

○北米に無人島
を發見し金銀を採掘する池田氏

日本郵船賀茂丸は二十四日午前十時橫濱に入港したるが同船にて歸朝したる船客の一人工業家池田有親氏は十三年前加奈陀の無人島クイン・シャレット島に渡りて同島を開拓し同島の一港灣をイケダ灣と命名し現に北米太平洋の主要地點と爲したる人なり氏は曰く『十三年前偶然機會を得てバンクーバーの北四百哩の沿岸無人島クイン・シャレット島を發見し加奈陀政廳の許可を得て採鑛に着手したるが鑛質頗る良好にて今は白人と共同にて該島に大鑛石會社を興し一日約一千噸の鑛石を採掘しつゝあり而して右の一噸より金及び銀を十二乃至十三弗を產出し得べく使用人員は白人日本人を合して四千名なり』（橫濱）

○佛航空團から何を練習する

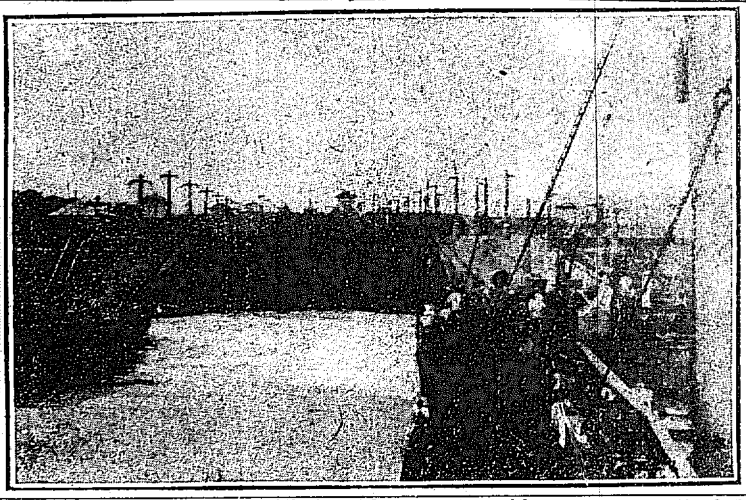
陸軍省公表に據れば佛國航空團に就て練習すべき我航空隊は之を航空機材料檢查操縱術の專習戰鬪飛行、偵察飛行、空中射擊、追擊練習、空中偵察、觀測練習、發動機製作、氣球練習等に分ち既に材料檢查に着手せるが八月下旬迄に各般の練習を各務原、所澤、濱名湖附近等にて行ふべしと（東京特電）

○一枚鑑札に成るか
內務省で近く發布の風說

近來全國に亘り私娼の數が著しく增加し當局では其の取締法に弱り切つて居るが之が改善は迚も從來のやうな高壓的な手段では一時掃蕩出來ても再び頭を擡げて來て迚も永續きはしないから根本的に之を防止すべく多年時に上つて居た二枚鑑札制度が愈近く內務省令を以て發布せらるゝとの風說がある若し之が發布されると如何なるかと謂ふに

◇藝妓　は藝妓鑑札と娼妓鑑札を要し酌婦は酌婦鑑札を受けることゝなり二枚鑑札を有つものは從つて强制檢黴を實行さるゝので或る唯困るのは藝妓で之は謎ては二枚鑑札にするわけには行かぬから從來一流處の藝妓は依然として藝妓鑑札のみとし第三流四流の不見轉藝妓なるものには强制的に二枚鑑札を與へるわけである夫れ故現在約五萬三千餘の藝妓中一枚鑑札の者が幾人あるかも問題だし藝妓並に在來の娼妓の受くる

◇打擊　は多大であらう併し一方では此の實現と同時に十四萬八千餘人の公娼が實現されるから從來潛んで居て密賣を流した私娼の如きは全然一掃さることになるだらうと（東京）



パナマ運河を通過せんとするパナマ丸（第一閘門に入渠したる）＝染川郵船長撮＝

○麗朝時代の石碑
慶州郡皇南里で發見

慶北慶州郡慶州面皇南里に『孝子里』と題せる石碑あり東京雜記にも字劃曉るべからずと記載しあるが如く正面『孝子里』の三刻字の判然たるに反し裏面は全く文字なきが如くにして世人の注意するもの少かりしが今回慶州

◆普通學校長　大阪金太氏の調査に依り碑面の文字殆ど判明したるのみならず其の建立は大定二十二年壬寅十二月なる事をも明かに知るを得たり右年號大定は金（女眞）世宗の年號にして二十二年は高麗第十九世明宗十二年神武紀元千八百四十二年安德天皇の壽永元年に當り今より七百三十七年前にして慶州に於ける麗朝時代の碑として唯一のものなり、元來高麗朝が當時

◆北方に崛起　したる遼、金、元等に臣事し其の正朔を奉ずる事前後約三百七十年なりしが其間に建てられたる石碑は恐らく無數なりしならんも當時の年號を刻せる碑の現存せるもの餘り多きを聞かず、然るに今此碑を發見したるは高麗史研究に貴重なる好資料を提供したるものと謂ふ可し（大邱）

○銃工の無理情死公判
犯罪事實を認む

去る一月十一日春川料理店一樂亭抱へ酌婦八重子事北村芳を短銃にて射殺せんとして咽喉部を擊ち貫きたる沖繩縣島尻郡知念村當時春川憲兵分隊銃工內間伊勢（三）に對する殺人未遂事件は廿六日朝京城地方裁判所公判廷に於て公判開廷せられたるが被告伊勢は『首も廻らぬ

▲借財の　爲め死ぬ氣になつたが一人ではつまらぬと思つて兼て馴染の酌婦八重を春川憲兵隊より盜み取つた短銃で冥途の道伴れに擊ち殺して私も自殺の上彼の世でお詫する氣でありました』と犯罪事實を一々認めた、田中裁判長は追つて二審を開く旨宣して閉廷した

○戰亂の世界を一周して……
パナマ丸釜山に來る
航程實に三萬二千哩日子八個月
滿鐵の汽鑵十二臺を積で……◇

本船は明治四十三年長崎三菱の造船にかゝる五千八百噸許りの荷物船で昨年五月九日橫濱を出帆、何分世界大戰亂中の危險極まる海洋を航海する事とて船體をマークに至る迄全部灰色に塗り換へ橫濱を出で[illegible]神戶にて日本雜貨の印度、南北米地方に輸出すべき荷物を積載し三角にて

◇輸出石炭　を積み同地より直航してシンガポールに向ひ而してカルカッタ、コロンボを經て南阿ダーバン、ケプタウンより南米リオデシャネロに到り十月中旬ヴァノサインスを經てサントンスチリニユランド、北米マーオレリヤンスより本船の同名パナマ運河を通過なしサンフランシスコ港に寄港し今回無事に歸着した次第であり升、何分にも御承知の通り獨逸の潛航艇が隨所に出沒するのであるから航海中は中々骨が折れるが又それ丈この苦い數日乃至數十日を經て無事に目的港に入港した時の氣分は假へ樣もなく愉快であつた殊に何處の港へ著いても常に

◇日章旗を　掲揚せる我帝國の商船や軍艦が停泊して居て入港の際には相互に航海の無事と帝國の萬歲を信號にて挨拶する等は何處の港に著いても日本人の常にせられぬ光景があつた、而して南米地方の如き地味の

豐穰なる　地に日本人の移住者は誠に僅少で其勢力は全く白人の手に占められてるのはわれ等の殘念に思つた點であつた、日本の雜貨は非常時に於てイヤ／＼乍ら賣つたでせう、何うかと云へば安いが品は粗惡で外人は一寸不向の傾であつたが何分他よりの輸入なきために止むを得ずといふ風で此の時についても戰後の日本雜貨は大に注意を拂ふべきであらう休戰の報はたしかヴェノスアイレスで受け取つたと思ひます以後多少航海安易を信じて『ファナ』に大阪商船のマークを入れましたが尚ほ不安の感はありました釜山へ入港したは御承知の南滿鐵道會社の

◇汽鑵十二臺　を積載して來たからで荷役もすみましたから二十四日に出帆門司を經て神戶で米榾の六七百を卸て入渠するので此航程實に三萬二千哩日子約八個月を要しました（釜山）

○佛飛行中尉
所澤で墜落 重傷を負ふ

二十五日フリベキ中尉は飛行練習中所澤の桑畑に墜落し重傷を負ひたるも生命には別條無き見込みなり（東京特電）

○大豹を拾ふ
六尺五寸の大物

全南和順郡東面水萬里の黃海城と云へる鮮人は去る二十一日正午頃自宅の北方約二丁の處に一頭の豹橫はり附近に鳥の大群飛ぶを見付け驅け付けて試みに石を投ぜるも豹は動かず近よれば既に斃死せるものなりしかば大喜びにて拾ひ取りたるが警民の檢する所に依れば身長六尺五寸致命傷は鐵砲疵にて一彈は左耳中央を貫通し一彈は左胸より內臟を貫き居たりと

○猩紅熱發生

京城高等女學校一學年松組生徒中猩紅熱に罹れる者一名あり依つて廿六日は授業を休止せるが松組生徒は引續き向三日休業の筈

○慶南利酒會

慶南道內各酒造業者の會合に成[illegible]日までに搬入の手筈を取るべく府[illegible]にては廣島、兵庫、福岡の三縣[illegible]に於て販二本づゝ三點以內を限り三月四日[illegible]

[illegible]前一時頃長男安仁貧（二）を背負ひ居れることを本夫に感付かれたる通を恥て自殺を企て山上より墜落したるま、凍死せしものらしく屍體は本夫に引渡されたり

[illegible]も二十三頭の擬似症ある由（元山特電）

○記念法要

淨土宗本町三丁目[illegible]にては[illegible]らせられたる日を記念する爲に殿下に一宗記念日と定められたれば同所にては國葬午後二時より記念法要[illegible]

[illegible]あり咸北道及咸南道北部沿岸は警戒を要すべしと（二十五日午後五時京城測候所發）

○連絡船上陸客

田中すゑ、本田嘉太郎、田中富二、森城年、森田房枝、吉川勝太郎、三谷彦子、李吉、島重吉、松村光子、瀧本かめ、同わか、同義一、向きみ、井上市藏、向かれ、同正一、[illegible]くに、村三助、林とし、島林八、金岡侯、大町市藏、中元寺繁、三城[illegible]、吉井田倹次郎、石垣榮、東半一、飯田源一、[illegible]

天氣　京城地方　晴一時曇

演藝案內

有樂館　當る二月二十五日より特別作品公開　▲寫眞　ユニヴァーサル週報十九號　早川雪洲專屬　ユニヴァーサル會社特約　活動寫眞常設館　▲活劇『人か野獸か』全五卷　▲冒險終編『幽靈船』十八篇　▲悲活劇『罪の報ひ』全五卷

黃金館　電話二一六六　▲『鐵道王の娘』　▲『淚の家』全五卷

大正館　電話八七三　▲米國キーストン會社　チャプリンの衝突　最長尺　▲米國ファインアーツ社作　ドーグラスの好奇　▲新派悲劇『都鳥』四卷

浪花館　京城明治町　電話二六〇　當る十五日より毎日午後六時開演　大阪合同落語一行

壽座　京城本町　電話五七八　元祖阪東巳之助一座　節劇　當る廿七日初日　▲壹番目　東俠客『雷金次』　式三番叟　▲中狂言　母はあれども母でなし『なさぬ中』　▲切狂言

醫學士宮田敦津一西氏發見　たんせきの良薬　セキドミン

丈夫で安い實用靴　ボックス革製　編上　東京牛込　ツブク靴店

乳母入用　辰己樓

朝鮮名物　金剛飴　京城本町　電話四七五番　龜屋

釜山名著商店案內

肥料店

酒精、燒酎、西貢米碎米、砂糖、麥粉

長岡商店

清酒・罐詰　釜山　あづまや商店　糖粉・官煙

雜貨問屋

機械材料各種　岩瀨商店

スマート

島田糸店

○犯罪の傾向と變化

物價騰貴に伴ふ生活難の影響

共進會の際に入込みたる内地の或る掏摸の親分の話…

平壤覆審法院に於て調査したる所往八箇年間に於ける死刑の宣告を受けたる囚徒數を聞くに左の如し（表中内は内地人、鮮は朝鮮人、支は支那人なり）

年次	内 男	内 女	鮮 男	鮮 女	支 男	支 女	計
隆熙三年	—	—	一七	二	—	—	一九
明治四十三年	—	—	一七	—	—	—	一七
同四十四年	—	—	二三	二	—	—	二五
同四十五年	—	—	一六	四	—	—	二〇
大正二年	—	—	一三	二	—	—	一五
同三年	—	—	一七	三	—	—	二〇
同四年	—	—	一三	二	—	—	一五
同五年	—	—	一七	二	—	—	一九
同六年	—	—	七	六	—	—	一三
同七年	—	—	二四	一	—	—	二五

以上の如くなるが即ち本表によりてその數を見るに昨年中の死刑囚は明治四十四年以來になき大多數を占め居れり而してその犯罪の主なるものは強盗殺人罪二十名殺人罪五名にして内二名は本夫殺しの罪を犯したるものなるが右につき

松寺法院檢事長は

左の如く語れり、曰く元來朝鮮人には他の犯罪に比し比較的その數の多きは姦通罪であるが而してその結果所謂姦夫、姦婦が共謀して本夫を殺害する等の事はよく見受られた犯罪であつたが近來その種の犯罪は別段減少したと云ふ譯でもないが他の犯罪の増加した割合には少い樣である

其反對に財産罪

即ち強窃盗、詐欺、横領など、云ふ樣な犯罪が非常に増加して即ち數に於て示せる如く昨年二十五名の死刑囚中二十名迄強盗殺人と云ふ罪名である、要するに時代の進歩に伴ない一面生活難の結果財産上に關する犯罪の多くなつたと云ふことは免れないことで且つ又その犯罪方法が從來朝鮮人に比し

遂に巧妙になつて

來た樣である然し内地人の從來の犯罪方法に比べてそれ以上の巧妙なる方法は見受けられない、一般犯罪の状況から見ると從來朝鮮人になかつた掏摸犯が近來非常に増加して來た樣である、之れは過年施政七週年記念の共進會が京城に開催せられた時に内地から或る

◇掏摸の親分が多くの乾分◇

を連れて一仕事せんと渡鮮して來たが早くも之れを見破つた官憲の方では其頭魁の擧動に三日間注意した結果遂に何事も爲し得ずして逃走して終つたが其餘類等が各地で小さい仕事をした其結果朝鮮人の無頼漢にも其種の者が出來て今では是等のものが市日等に時々之を見受けらるゝ樣になつた

從來朝鮮人の掏摸

は更明などに雖擬などして居た朝鮮人の巾着を窃取した位のものであつたのが近來は純然たる掏摸が比較的盛んに行はるゝ樣になつた樣である昨年の犯罪状況を從來の夫と比較するに概して

都會の犯罪が多く

なつた樣で田舍地方では減少して居る樣である之れは要するに物價の騰貴した結果一方には金儲けが増加してる樣で又一方には益々生活難に迫はれて其結果犯罪を敢てすると云ふ風でその生活の程度が田舍地方より都會地の方が甚だしい爲に隨つて都會地の犯罪が増加したのであらう平安南道によつて見ても

平壤安州鎭南浦等

は前年よりも犯罪件數が多くなつてる、其他京城とか各都會地方は確に増加してると思ふ又今一つ例年と異にして來たのは非常に

婦人の犯罪が多く

なつたことでこれもその原因は生活難に起因せるものが多い樣であるが之れは又その反面に婦人の勞働者即ち婦人の金儲けするものが多くなつた結果であらうと思ふと云ふのは物價の騰貴に伴なつて夫は成る可く多く

金の儲け得らるゝ

所を選ぶと云ふ結果その土地を選ばずに妻子を家に殘して出稼する後に殘された妻は子供を抱へて生計を立てゝ行くがそれが都合よく夫から送金でもあれば兎に角若し夫からの送金がその生活を滿足せしむるに足らないものとすれば

妻は相當なる内職

でも求めて生計を立てゝ行かねばならぬが、それが果して現代の社會に滿足し得る丈けの金儲けが有れば兎に角無い時には自然惡い事と知りつゝも何等かの犯罪によつて糊口を凌がねばならぬと云ふことになるから婦人の犯罪者が多くなつたと云ふことに歸著する兎に角

夫が妻に一家を

一任して出稼に行くと云ふことは一面妻そのものも何等かの金儲けを爲すと云ふ頭もあり妻も亦夫の不在中自分が幾何かの金儲けをして一家を支へて行くと云ふ考へを持つたその結果は遂に犯罪を爲すと云ふに至るものと思はれる現に

統計に現はれた數

に於て見ると大正六年まで一ヶ年平均七十人を示して居た女囚が大正七年の上半期に於て九十人と云ふ數を示して以來下半期からは平均九十人以上を示して居る

之れを要するに

以上の事實から見ても犯罪と生活難と云ふことは密接の關係を持つたものと云ふことは明かである

京城日曆（京城標準時刻）

三月

◇日出入◇

	日出	日入
一日	前七、〇七	後六、二六
七日	六、五九	六、三三
十三日	六、四七	六、三九
廿一日	六、三六	六、四六
廿七日	六、二三	六、五〇
卅一日	六、一六	六、五四

◇潮◇

	（晝）	（夜）
七日	二、二三	三、二七
廿二日	三、一〇	三、五〇

◆一日◆八專入◇帝大記念日　一高記念日

◆二日◆舊曆二月朔日

◆三日◆桃の節句

◆七日◆義士祭　今より二百二十一年前、元祿十五年三月七日赤穗義士切腹の日

啓蟄　前零時六分

◆九日◆庚申

◆十日◆陸軍記念日

◆十二日◆八專の終り

◆十三日◆甲子

◆十五日◆梅若忌

◆十七日◆社日

滿月　前零時四十一分

◆十八日◆つちのこみ　今より約三千年前聖武天皇神龜二年此月此日、歌聖柿本人麿逝く

◆十九日◆彼岸の入り

◆廿一日◆眞言宗の御影供　今より約一千百年前、仁明天皇承和二年此月此日、眞言宗の開祖空海上人入寂

◆廿二日◆彼岸の中日

春分　前一時十九分

春季皇靈祭

◆三十日◆其角忌

◆卅一日◆耶蘇復活祭

◇殖林と緬羊

咸南の有利事業　大資本の投下

□植林　咸鏡南道は全道中最も地域の大なる森林地帶を保有して居るが而も之等の森林は交通の不便な伐採に不可能の地域に限られて居て多くの丘陵は禿山重疊の觀を呈することは他道のそれと大差が無かつたから道當局は盛んに植林思想の涵養に努め植樹の奬勵を行ひ來つたが最近に至つて東拓、住友、小泉等の資産家によりて植林事業に投資さるゝ一方地元民も植林組合等を組織して植林事業の進展を圖りつゝあるが即ち

◆東拓◆では安邊、德源、文川の三郡に涉り國有林野一萬六千町歩の貸附許可を受け大正四年より造林に着手し目下毎年百萬本宛の造林實行中である

◆住友◆男爵家にありては咸興、新興及び洪原の三郡に渉り國有林野九千町歩の貸下け許可を受け本年春期から咸興に苗圃を設け造林事業に着手することになつて居る而ほ此の外定平、永興、高原の三郡に渉る一萬五千町歩は目下出願中である

◆小泉◆緬羊牧場は永興、定平兩郡に於て國有林野約五千町歩の貸付けを受け半他には緬羊牧場を設け殘地に造林を計畫し造林業は目下着々進行中である

◆定平◆郡府内、廣德、長原、文山、宣德、歸林、朱乙の各面は植林組合を設けて國有林野五千三百三十町歩の貸付けを受け苗圃を設け既に大正六年より造林實行中である

◆永興◆郡仁興、德興、古寧の三面は共同して殖林組合を組織し道安山及び安佛山國有林千八百町歩の貸付けを受け永興邑内に苗圃を設け目下三十萬本の苗木を養成しつゝある

□緬羊　咸鏡南道に於ける緬羊飼育業は目下の處只單に將來有望ならんとの豫想のみであつて未だ誰も先鞭を付けたものが無い隨つて有望であるか否やの疑問に對しての斷定を下したものは勿論無いのであるが當局は農家の副業として緬羊の飼育が可能であるか利益であるか乃至他畜産飼育との關係や如何と云ふ問題に就いて研究中である即ち大正六年十二月洗浦牧場から分配を受けた十頭の内六頭（牝五牡一）を種苗場に四頭（牡二牝二）を篤農家金忠顯氏に分配試驗飼育中なりし處内二頭は斃死したが他は頗る良好に成育して居る道は更に昨大正七年十二月洗浦牧場から五頭の配布を受け内三頭（牝二牡一）を元山の篤農家林虎松に依託飼育をなし研究を續けて居る、大規模の牧場として緬羊飼育の計畫をなし居るのは定平小泉緬羊研究所がある同所は定平郡歸林面道安山の内百十四町九反九畝、永興郡仁興面道安山の内二百五十三町七反八畝、計三百六十八町七反七畝の國有林野を拂下け今後十年を以て蒙古種とメリノー種の雜種を作り毛肉兼用種五千頭の飼育を完成した上將來は漸次牧場の擴充と共に預託飼育を勵行し以て二萬頭を普及せむとするものであるが現在は植林と既立木地の整理中で緬羊の方面は未だ着手せられて無い（咸興）

○咸興の精神界

◇佛教家の大奮起を望む◇　咸興各宗派聯合の佛教青年會は昨今に到つて活躍の目醒ましいものがある毎月一回輪番に各派布教所で講演會を開催する外に興福寺に日曜學校を興し子弟の修養に資するなど見るべきものがあるが一方耶蘇教は日本メソヂスト咸興教會の如き信者の團結を固めつゝ求道者の提唱に努めて居る此外に加奈陀長老派の鮮人布教は一段と目覺ましいものがあるが内地人宗教家にして鮮人の心靈指導に一指を染めんとするもの一も絶無なるは頗る遺憾の至りである殊に佛教國たりし鮮人に於て我同胞佛教家が此の方面へ全く手を着けぬ觀があるのは什うしたものか内鮮人の同化と云ふが如き大問題は官民一致の協力は勿論だが宗教家などは最も責任ある最も便利なる地位にあるものであるから率先して鮮人の布教に努めて貰いたいものであると憤慨して居る者がある（咸興）

○公州品評會

◆三月十日より四日間◆　忠清南道公州郡に於ては來る三月十日より十三日迄四日間公州公立普通學校を會場とし公州面外十二面聯合物産品評會を開催し一般觀覽に供する由尚同期間中公州普通學校生徒の學藝品展覽會を催し一般觀覽を許すを以て定めて盛況ならん

○流行性感冒の歷史

症候と豫防の方法……（三）……

原總監部技師牛嶋同囑託調査

◇病原◇

流行性感冒の病原體として今日最も世に認識せられしものは西暦一八八九年より一八九三年に亘りし歐洲の本病大流行に際し一八九二年ファイフェル氏のベック氏と共に本病原の研究を重ね發表せられしインフルエンザ菌なりとす、爾來本菌は諸學者の認識するところなりしも近年本病流行に際し毎時本菌を證明し得られざることあるを以て異種説を稱ふるものあるに至れり

ファイフェル氏の所謂インフルエンザ菌なるものは其の形態最小なる桿狀菌にして兩端鈍圓にして染色液に對し濃染し中央淡染し恰も雙球菌狀を呈しグラム氏染色法に於ける陰性菌なりとす

昨年當京城府本病の侵すところなるや、軍隊練習所寄宿舎を侵襲し猛烈に蔓延し數日以内に全寄宿生及び職員に傳播し之が罹病を免れたる者僅に數名に過ぎざる慘狀を現出せり、依て試みに罹病者二十餘名の喀痰を採取し本病原菌を檢索せしもファイフェル氏のインフルエンザ菌は檢出し能はざりし兎に角今回少數の檢査に依り患者の喀痰及び鼻咽喉分泌物中にはファイフェル氏のインフルエンザ菌なるものは發見し能はざりしも病原體の存在は患者喀痰及び鼻咽喉分泌物内たることは動かすべからざる事實とす

本病毒の抵抗力、流行性感冒の病原體として今日尚不明のものである以て隨つて本病毒の抵抗力も一定し能はざらむも喀痰中の本病毒は乾燥に對する抵抗力比較的弱く速か死滅し傳染力を失ふと云ふにあるを以て患者の乾燥喀痰は危險少きものと推定し得、換言すれば乾燥痰沫は飛散傳染の能力なしと

◇豫防法◇

現下流行しつゝある本病迅速にして傳播すること早く忽にして一都市、一州、一國或は全世界を風靡すること稀ならざるのみならず、病毒感受性普遍にして老幼男女を問はず、加ふるに菌携帶者の病毒を撒布するものあり從つて眞に本病を豫防することは至難事たり、故に各人其豫防に意を致すことを以て最も必要とす、但し公衆衞生上若必要とすることは大略左の方法を嚴守するを得ば豫防上効あらむと信ず

（一）本病の媒介と認むべき集會を停止せしむること（二）學校寄宿舎にして多數生徒罹病する處あるときは一時授業を停止すること（三）官廳會社等にして一時休業の困難なる場合は罹病休養者は全治後醫師の證明書あるに非ざれば出務せしめざること（四）一度本病に侵されたる者は全治後出務する者は一定時間他人と三尺以上隔離するに非ざれば對話せざること（五）患家訪問は勿論罹病者は全治後十日以上を經過するに非ざれば決して他家を訪問せざること（六）外出に際しては呼吸保護器を用ゐ冷氣及び塵埃の吸入を防衞すること（七）喀痰及鼻、咽喉、分泌物にて汚染せられしものを消毒する事

○峯尾鑛山（淸州）

忠北淸州郡内なる峯尾金鑛は近來益々有望にして九鑛區共に盛んに採掘しつゝあるが中にも鳳揮山一帶（悦山）の峰の如きは鑛脈分布され日々鮮人工夫二百餘名を使役して採鑛に從事せしめつゝあるが一日賃金七十錢より一圓迄にして同部落民は半農半工にて頗る懷工合宜しく閑散期に於ても勞働の結果裕福なり是故に外川派遣所に於ては是等勞働者に對しては最も嚴重なる取締をなせり

▷著作原稿懸賞募集◁

原稿種類
一　朝鮮風俗に關するもの
二　朝鮮歷史に關するもの
三　朝鮮行政法其他朝鮮特種の法律に關するもの
四　朝鮮鑛業に關するもの
五　朝鮮に關する各種出版物
（原稿は内鮮人向を問はず）

賞金　（壹等）壹百圓（貳等）七拾圓（三等）五十圓
選外の分と雖も出版に適するものに對しては二十四以上四十圓迄の謝金を呈す

審査　京城日報社及各專門大家に委囑す

〆切期限　大正八年九月三十日

應募規定
（一）原稿は五號四十字詰十五行三百頁以上五百頁迄とし振假名を附するものは振假名付き寫眞、插畫等を要するものは共に之を添付せらる可し
（二）當選及佳作金を呈したる原稿の版權著作權は發行者に移る者とし當選外の者と雖も原稿は一切返戻せず
（三）當選の原稿はウツボヤ書店にて出版發行し京城日報代理部に於て發賣するものとす
（四）出版物の體裁及價格等はウツボヤ書店及京城日報代理部に於て決定す
（五）懸賞募集は採らず但一人にて數種應募するも妨なし
（六）當選發表は京城日報上
（七）發行期は發行者與審者之を決定す
（八）原稿は京城日報代理部宛書留郵便にて送られたし
（九）賞金は發表と同時に贈呈す
（十）鮮人の著作物は其の筋の許可ありし後贈呈す
以上の規定に反せざる原稿は審査に附せざることあるべし

京城太平通　京城日報社代理部　：　京城本町　ウツボヤ書店出版部

かどの春（仁川）

内地では梅の盛りの噂も鮮でも早や雛の連想が蕾を膨らませて東公園の陽當りには卷壽司のお重でも開かれさうな陽氣▲日一日に春めいて行く此の頃仁川は路行く人の半分はもう外套も脱いでゐるよう云ふ氣早やさである▲此の調子なら今度の日曜當りは小舟を傭うて月尾島の小草を踏む散策の人出もあるかも知れない▲何を云つても早や三月だもの青踏の一句駄句も俳諧師もステッキ曳いて温突を出るだらう▲春になれば海を聯想する春水に帆を上げて鏡の水面を辿る氣持ちは決して惡くはないが更に磯邊の貝拾ひなど之から漸く好節となつて來る▲磯と云へば近頃仁川には鰻が盛んに漁れる干潮を見計らつて砂島の突堤附近に傳馬を操つて居る連中が即ち鰻取りである▲如何して採るかと云ふと不性者の本性を現はして長い柄の附いた鰻掻を利用する一掻すれば一本二本掻すれば二本三本と云ふ具合に取れる事夥しい▲都合よく行けば一度に一貫位を採るのは譯はないとは行かずには居られまい▲而もそれが滅法に美味いと來て居る脂が充分に乘つて居る試みに日曜の一日一度テモでも渡舟を藉つて實行し給へ歸來一尾の鰻を得れば晩餐の卓上優に斗酒を仰ぐに足るとは決して嘘ではない

商況

東京株式特電（廿五日後場引け）

銘柄	値
東株新	一四九、一〇
同 新	一〇七、三〇
商船	一三一、三〇
同 新	一〇四、一〇
郵船	一一四、七〇
同 新	九四、一〇
東汽新	八一、九〇
同紡	六七、九〇
鐘紡	一五一、四〇
同 新	一二三、〇〇
東紡	一九四、三〇
同 新	一二八、〇〇
富士紡	一一五、八〇
同 新	八〇、三〇
寶田石油	前場 一〇七、三〇
同 新	同 四八、六〇
横濱取引	同 八八、五〇
新高製糖	九六、五〇
北海炭坑	一〇二、二〇
同 新	一〇七、八〇
南滿鐵	一四七、五〇
第一新	一二四、五〇
第二新	一五五、三〇
東拓新	一七六、一〇
同 新	一三五、九〇

東京現株中値（廿五日中値）

銘柄	値
東拓	七九、〇〇
同 新	……
朝鮮銀行	一八〇、〇〇
同 新	……
南滿鐵道	一四八、〇〇
京一新	一一四、〇〇
京二新	七四、〇〇
京城電氣新	一四八、〇〇
南滿製糖	一二三、五〇
朝鮮瓦斯	二二〇、〇〇
商船	一五一、〇〇
同 新	……
郵船	一八九、〇〇
同 新	九〇、〇〇
紡	二五九、〇〇
同 新	二三七、五〇
東株	一〇二、〇〇
同 新	一八三、〇〇
朝鮮興業	……
寶田石油	一〇六、五〇
同 新	五〇、〇〇
横濱取引	八七、五〇

東京期米同電

當限寄付	……
中限寄付	……
日後場	
寄付	……
高値	……
安値	二十五日前場 三八、〇〇
止め	……

大阪株式特電（日後場）

銘柄	値
宇治川水	……
京阪電鐵	一四〇、一〇
東紡新	……
同 紡	……
合同紡	……
鐘紡新	二四〇、四〇
同	二三〇、一〇
東洋紡新	二一九、一〇
郵船新	二〇一、〇〇
商船新	一四三、四〇
同	一五一、二〇
堂島米穀新	一〇〇、〇〇
東京株式新	一〇八、五〇
大阪株式新	一三〇、〇〇
日清	一五七、五〇
同	一九六、〇〇

大阪三品特電（日前場）

二月限	三九二、六〇
三月限	……
四月限	……
五月限	……
六月限	……
七月限	三四九、〇〇

大阪期米特電

日前場	
寄付	……

下關期米特電

	當限	中限	先限
日前場 寄付	三九、九〇	三九、八〇	三九、二〇
止め	三九、九〇	三九、四〇	三九、二三
二十五日後場 高値	三七、八九		
安値	三七、八〇		
止め	三七、九〇		
二十五日前場	三八、二〇		

兵庫期米特電

	當限	中限	先限
安値	三九、六〇	三九、一九	三九、八〇
止め	三九、六〇	三九、三〇	三九、〇〇

二十五日後場　寄付　三八、三〇　高値　三八、四〇　安値　三八、三〇　止め　三八、四〇

緯報

●正米氣迷ひ　米は別の如き事にて今尚賣買双方共に見送り態度を取り居れば引續き見ろべき前内行はれず況は最先安勢への秘に持合狀態なるが漸く次第弱りさせ受けられし荷主は今朝の期

再び腰を強め　の來りしも反騰面見送り、精米筋は此處多少必需買に迫まりつゝある模樣なるにあらず元より白米不賣時代の折柄なれば高値を買進む向のきは勿論なるも此機先或程度迄は買人より値段の折ひな寄せ掌取るに至らんかとも思はる

此邊保合　ひと見るべし　今後何の新材料の現はれざる限り

●染料更に安合　米國安入、運賃經濟等の爲め著しく下値に落込みし佛國染料は引續き不引合にて輸入皆無なるより市中品薄の傾向あれども

一部弱氣連の持荷筋　賣尚現ろ、ため相場押し寄安合めろが最早見之は懸投賣し略一掃の模樣なれば今後は多少返しあるべしと觀測せらる

●皮革類先安　皮類は昨年來國品の輸入前調より且つ西伯利方面の輸出は今尚商談中絶の姿にて大勢として各品を通じ軟弱を辿り殊にボックスの中品以下は甚だ品不勝なる況

一層惡傾向　として一般地方の品は常に一樣標にて比較的の況を示しつゝあるが昨今當地は李太王殿下の御葬儀を控へ市中製靴材料の荷動き頗る好況を告げ大勢の不良を償ひつゝあるが如く現下の成行き底強くして前途後始ご持合商状を示し居れるが昨今の需要一段落後は内地氣配に伴ひ

幾分の引緩　みを見るべし

●電銅引續不昧　電氣銅は市況益々惡化し漸落歩調を辿りつゝあるが卅三圓唱へにて前日に比し二圓方の下落となれるが進は4國相場の不昧なる入電に接し居れると海外への輸出不振の結果手持筋の

嫌氣投賣　現はれしも爲めとて市況の挽回は望み難かるべく目下の市價は

戰前相場接近　に居れりさ

●鹽酸加里閑散　鹽酸加里は休戰成立後は海外殊に南米方面への輸出は杜絶せるさ内地需要者の買控へとに依り市況不味の事情を持續せるが昨今は輸出依然不振なるのみならずマッチ界の不況は延いて鹽酸加里の需要をして益々不勢に陷らしめ商談閑散の爲め相場も

漸落歩調　を示し内地相場は弱へ見當を如じ居れり

●支那栗漸落　支那栗は正米の安氣配に伴ひ地方筋へ入荷順な遂び市中在荷漸く嵩みならん傾向にて其後買人の限へは開城物にて十六日七十錢がを唱へられ過般の高値より

約一圓五十錢の低落　を示せるが向今後順調入荷あるべき極ふて入荷關係等にて更に下押しの模様を待せられつゝあり

下關相場

▲朝鮮米は益々不況前後安米一千六百叺白米一千四百六叺の輸入ありしのみならず産地の如きは安穀を傳へ居ろと期米も意外なる奔落を見るに至りたる杯一層人氣不況を極め三月物五百叺は四十三圓四十錢に手合ひされたり

京城正米市場

本品は玄米最高三十六圓丁度最底三十五圓五十錢にて四百六十叺出來せしが氣配は別項の如く四叺出來せしが氣配は別項の如く買物に持合ひ中にも荷主再び腰を強める傾向にて持合商談物が如く保ちらず

南大門廻穀

開城籾一七一叺　仁川白米四一叺　開城玄四〇〇叺　仁川白米二〇〇叺　元山小豆一五〇叺　仁川籾六八叺　仁川籾五〇〇叺　富白年米二〇〇叺　長淵籾九一〇叺　中和粳麥一〇八叺　沙里院粳麥三九〇叺　平壤玄米四〇叺　汝山粳一七〇叺　黃州花子三〇叺　水原白米五四〇叺　成歡粳二〇七叺　烏山玄米七〇叺　金村白米二〇七叺　水原白米九一〇叺　沙里院小豆五四叺　鳥致院粳一三二叺　新院小豆二叺　富川小豆四九叺　金村白米一八叺　金村粳七叺　中和大豆三六叺　鵬溪麥一九〇叺　金谷大豆五〇叺

仁川正米

籾入荷益々増加の傾向を示したるも精米筋の買進みに十錢六厘見當にて相談行はれたり▲正米各地の期米安を移して幾分軟弱を示したるも買方に於ても安値を手控に地摺玄米

三十四圓七十錢

で賣急がず▲仲介三等合格三十六圓五十錢買見當を唱へ居るも買方の見送りに相談出來ざるが如し

生魚市場

京城日の丸水産組合　近來の入荷は漸次増加の模様にて競賣の相場は概して安し（以下魚種別相場略）

仁川期米

二十六日前場（反動戻し）

第一節　各地入電未著なるも不日の氣丈を移して人氣強硬に初出來中三十七圓〇五錢先三十七圓十錢と寄付し初買し見持次第し押目は賣物多く二十五錢引

圓十錢ご寄付

第二節　當中出來不申先三十六錢と押▲第三節　當中五錢不申先三十二錢より三十錢と緩み三錢を保合▲第四節　當中出來不申三十錢よりし二十九錢と上りしも押目は賣物多く三十三錢と返し二引

先三十二錢

●五錢より三十二錢と強硬に止む　前場當限出來不申中限三十七圓十錢

京城正米市場（釜山）

○こりがい七〇あわび四かに三五小豆一五

人氣惡化　は日を立ちたる出廻り未々なから絡切ざると入品豐富の折柄前日線落の氣を受けて市場は又又揚し目標に過ぎる手控へ必需品補充買に過ぎざる市場は遂に

又復五十錢安　を唱ふるに至れり（二十六日釜山特電）

市場雜觀

▲昨前場大阪一節三十八圓二十錢二節二十五錢三節二十錢四節二十錢五節十錢六節四十錢八節九十錢十八四節九十錢中十錢先十錢七十四節二十錢一錢先八十錢中東京三節九十錢十錢下へ關三節三十八圓八十錢

▲先限三十八圓二十錢十四錢二十八錢二十錢下へ關三十八錢

逆に高歩調

▲市況各地の暴落に反して逆に強硬に打止む　不自然高の反動を見ざるもせん形勢を現せしが各地安を鑑みに好く買込みしマパラ連中は鈍んど呆氣に取られ只呆然とせ

株式會社仁川米豆取引所仲買人　全高田仲買店　●前金御注文は　●紹介を不要候　●御照會に對し親切に御答申上候　仁川港町三丁目　電話長一八〇番

仁川米豆取引所　廿六日の四月限　前場　寄付　三十七圓十錢　高値　三十七圓十錢　安値　三十七圓五錢　止め　三十七圓三錢

田　仁川米豆取引所仲買人　田中金兵衞商店　仁川海岸町三丁目　電話長二〇番

廣澤正次郎　仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町二丁目　電話長二〇七番

倉　仁川米豆取引所仲買人　仁川本町一丁目　電話長二八〇番

今村覺次郎　仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　電話長三三八番

○悔悟の自殺

平南德川郡德安面德洞里五百五十二番地白永花（二三）は隣家なる金奇浩と密通し……子が變死せるを發見したり二人共多少負傷し居れるも他殺の疑ひなく前後の事情より察するに全く悔悟

○元山畜口蹄疫

廿五日午前五時元山里屠獸場にて屠殺せんとする際一頭の畜口蹄疫を發見直ちに之を隔離せるが他に

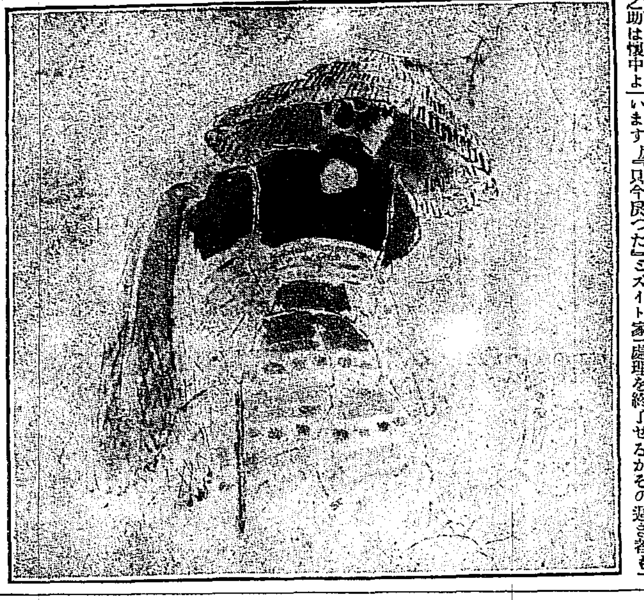
○風強かるべし

滿洲北部に發生したる氣壓は七五四粍を示せる風强かるべく漸次東方に進行しつゝあるが風强かるべく

氣象豫報（二十六日午後三時發表）

京城及其附近の氣象豫報　二十七日（晴）　低氣壓　濟洲北（西）　高氣壓　揚子江流行　七六六

日出　六時……日入　六時……



卅六番角力

毛谷村六助　百五十五席　桃川桂玉口演　浪上義三郎速記

木村又藏が一伍一什を物語りますを聞いて虎之助も呆れ返つたが虎『隨分貴樣達は亂暴な奴だ、然し心得ちがひをいたすな、如何に母の爲とは云ひながら、人を殺して奪つた金で藥を買つてそれで癒ると思ふか、然し母を思ふ孝心の程は感心いたした、依つて今日の處は免し遣はす、以來は斯樣な事はいたすな　又『平に御容赦を願ひたうござります　虎『然し母の病氣は重篤か　又『決して偽りは申しません　虎『それでは五兩金要るのか　又『左樣、子孕の野猿を一疋買ひまして、それを藥に用ひまするには五兩金入用にございまする　虎『それでは母の病氣を助けたいといふ汝の孝心に愛で拙者が遣はす　又『千萬忝なうござる』虎之助は懷中より金子五兩を取出して　虎『此を遣はす故母に藥を買つて遣はせ』木村又藏は押し頂いて嬉し涙にくれましたが、逃に退つて兩手を突き　又『先程より貴下の御樣子を見まするに、未だお年若で在らせられるが、お情深きお武家、殊に天晴なる腕前、手前は木村又藏と申す元佐々木家の浪人でござるが、母を手當に及び全快の後は貴方のお側へ參ります故、何卒御家來の列にお加へ下さらば有難き仕合せに存じまする　虎『ウム、拙者を主と恃みたいとならば如何にも家來にいたし取らする母の病氣全快次第長濱の城内へ參れ木下藤吉郎の家來加藤虎之助と聞いて參れ必ず召抱へて遣る』此を傍で聞いて居りました井上大九郎が　大『イヤ木村旨いことを遣つたな、エヽ恐れながら申上げます、手前は以前中國小早川家の臣でございましたが、酒好きの放蕩故に遂に親に勘當いたされ國元を浪人いたし、何處を目的と定めなく斯く彷徨廻つて居りまする井上大九郎と申する者でござります、手前は只今は親もなければ兄弟もなく、身柄一つでござります、依つて只今より貴下の御家來に成し下されたく　虎『ウム、承知いたした、尼敗へ參れ　大『早速の御聞濟千萬忝う存じまする……イヤ木村、拙者は只今より加藤樣のお伴をいたして長濱城に參るから、成るたけ貴公も早く出て來い　又『如何にも承知をいたした、」母を手當に及んで全快の上は必ず罷り出るから、暫くの間俺と二人分働いてくれ　大『それは申すまでも無い、然し永引くやうであつたら、癒るものなら癒すが宜いが、愈々癒らぬと極つたら殺して早く出て來い　又『馬鹿を申せ、そんな事が出來るか』と茲で木村又藏は二人に別れを告げて大喜びで我が家に歸つて參りました、此方は虎之助大九郎を伴れて夕景に城内へ歸つて參りまする、組子の者は詰所へ歸し自分は住居へ立歸つて參りました、其頃は加藤は未だ無祿でございまして、お長家内に住居をいたして居りましたが福島、片桐、加藤と其の家來の飯田覺兵衛と此の四人が同居でございます　虎『只今戻つた』とズイト家内へ入りまするを、横になつて寢て居りました福島はムックリ頭を擡げて　市『オヽ誰かと思つたら虎公、今歸つたか、何だか貴樣の背後に怪しい妙な奴が立つて居るぞ借金取りなら斷つてしまへ』之れを聞いて大九郎は大きに驚きました　大『隨分變な奴が寢て居る、あれは全體何んであらう』と考へて居りました　虎『八盗賊、グズ〳〵云ふな、サア井上身共と一緒に奥へ參れ』今上がらうとするを　〇『ヘエ兵糧でございます、食事を持つて參りました』と表から大きな飯櫃を仲間體の者が擔ひにいたして一人の役人が附いて遣つて參りました、スルと寢て居た福島はムックリ飛び起て　市『ヤイ、先刻より待つて居つた』オイ片桐、其の櫃を出せ……さア此處へ入れて呉れ』と飯櫃へ飛び込ませました

古本買受　京城明治町通り　野村書店　御報參上　電話三〇五〇

御寫眞　高等美術　撮影迅速丁寧　京城旭町一丁目　河原寫眞舘　電話一九八一番

〇電信競技會

◇大邱郵便局に於ける◇

大邱郵便局電信競技會は既報の如く二十三日午後零時同局監務室に開かれたり競技順序は送信に始まり受信となり受付競技に終りたるが先づその送信振を見るに送信器の把子を摘める指頭の上下に活動する樣は實に目にも入らざる程にて僅か三分時間に多きは四百、少き者も三百の假名を打ち終れり又最後の受付競技の如きは頼信紙二十枚に各通共至急、照校、同文、別使配達、或は追尾電報と皆夫々に普通有り觸れざる複雜な電報を作り凡總つて件名表の記帳及び料金の計算記入迄を終らしむるものにて其早き者は僅に七分間にて些の誤りなく此の錯雜なる交附處理を終了せるがその遲き者も十五分間に終りたり競技終りて左記入賞者に加納局長より賞品を授與し尚電信技術に關する訓話ありて散會せしは七時を過ぎたり▽入賞者▽送受競技（和文、歐文、譯文）甲組一等信國次　二等瀬戸口彦、三等久保川傳、乙組（和文、譯文）一等吉田勝定、二等南相大、三等白英基　乙組（和文）一等辻春三郎、二等梅田安次郎、受附競技、一等信國次郎、二等高間錦正志

二月廿八日

（舊一月廿八日）（火曜日）かのえ　佛滅　▲三碧　▲おさん

▼三碧▲餘り深入すべからざる日
▼四綠▲親密を意味する日にて共力して事をなすに最も有利なる日
▼五黃▲何事にも氣乘り薄き日也
▼六白▲得て力味甲斐のなき日也
▼七赤▲そりの合はぬ事ある日也
▼八白▲世話苦勞の生ずる日なり
▼九紫▲目上の力を得る日にして起業移轉棟上金談婚禮其他に吉也
▼一白▲嬉しきことある日にして何ごともテキパキ行くべき日なり
▼二黑▲念に念を入れ働くべき日

一日―二日―三日と　目立つて色が白くなる

美乳

鏡見る毎に私の嬉しさ！

◇女一生の幸福が　其の美にありますことは承知して居りますがさて生れつき色の白くない美しくない私などは何うなるのでせう、斯う思ふと急に涙ぐんで來て、それ以來すつかり悲觀者になつて仕舞ひましたがふと新聞で見た美乳の評判、一つ試驗のつもりで用つて見やうといふ氣になつたのが今から思へば抑も私の幸福な生活の出發点であつたのでした。

◇全く驚きました　と申しますのは美乳を用ひ出した最初の印象からして從來有觸れた化粧品の類と成分が異ひ白粉でもなく化粧水でもなくさり迚單なるクリームでもない、成程日本に初めて出來た評判の美白劑だけあると感心致しましたばかりでなく用ふに伴れて一日、二日、三日と目立つて効果が顯はれ一週間目には噂に違はず生地からの此白い美しい膚。

◇明るみの世界へ　急に出たやうな心持になり鏡見る毎に私の嬉しさは何んなだつたと思召す。美乳の不思議な美白力のお庇で今ではコンナ樂觀家になり幸福な家庭の人となる事が出來ました、美乳は全く私の救ひ主ですから朝夕缺かさず常用して居ますが外出の時には美乳の姉妹美容料「純白美乳」を一滴必ず發けて一入水際立つた化粧榮を眞から喜んで居ます。

家庭では…朝夕美乳！
外出の時…純白美乳！

僅か一瓶で美人となる　試驗はタツタ一週間！

本舖　大學白粉本店　矢野芳香園　振替大阪三〇三六三番

毛髪の衞生に適し其色澤を漆黑艶麗ならしめ食用に供すれば美味にしてオリーブ油に優る

〇ミツワ椿油

みつわ・つばきあぶら

MITSUWA TSUBAKI (CAMELLIA) OIL.

Mitsuwa Tsubaki (Camellia) oil is admittedly the best for the hair. It enhances the natural lustre and strength of the hair, and nourishes it generally. The oil is compressed from the camellia, and through a sanitary process, is bottled absolutely pure. Perfect for toilet.
Price 25 Sen, 40 Sen and 70 Sen.

本品は普通の椿油とは全然其の製造法を異にし、新鮮なる椿の實を悉く皮膜を去りて冷壓法を以て、些少の熱をも加へずに搾取せるものなるが故に、之を頭髪に用ゆれば毛髪の發育を助け、脂肪の過剩を防ぎ、色澤を艶麗且つ漆黑ならしめ、赤毛白毛に成り易き憂ひを除き、臭氣を發することなく、裂け毛折れ毛等を生ずる虞を去り、漆黑を貴ぶ本邦人の毛髪に最も能く適應する理想的完全の毛髪油なり。本品は冷壓法の特殊製造に依るが故に、之を食用に供すれば、普通の椿油の通有性なる苦味臭氣なく、而も美味にしてオリーブ油に優り、食用油として最も純良比類なき逸品なり。されば揚者に用ゆれば風味輕く、胡麻、榧等の油の比に非ずして味極めて佳良頗る賞美すべき食用油なり。

定價　小壜……金貳拾五錢　中壜…五勺入…金四拾錢　大壜…一合入…金七拾錢　鑵入…五合入…金三圓貳拾錢　內地以外は關稅運賃を加ふ

體裁優美高尚にして理想的の

〇ミツワ石鹼容器

みつわ・しやぼんいれ

定價　金貳拾五錢　大形　金三拾錢　內地以外は關稅運賃を加ふ

從來の石鹼容器は、大低金屬か陶器ですが、價格が高かつたり、構造が惡かつたりして、或は錆を生じ、或は水切れがよくない爲に、石鹼が溶け崩れたりする缺點が多いのであります。此等の缺點を考へて完全に製造されたものは、ミツワ石鹼容器であります。陶器ではあるが品質は極めて堅牢體裁は頗る優美、以上の缺點は毫末も無く、優良無比の品質を具備してゐるミツワ石鹼の容器としては、最も理想的適當なもので、家庭用、浴室用として、極めて完全優秀なものであります。

新案特許―純護謨製　大阪　宗田商店鑑製

〇ミツワ水枕

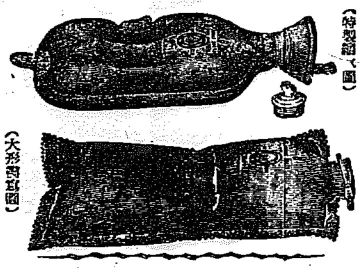
みつわ・みづまくら

定價　大形　金壹圓二拾錢　中形　金壹圓　小形　金八拾五錢　特製　金…圓　內地以外は關稅運賃を加ふ

凡ての家庭には必ず二個の水枕を備へざる可らず

子供に熱の出た時などには水枕が最も必要欠くべからざるものです──學生が勉強して疲れた時など水枕をすれば忽ち元氣回復します──其水枕の中でも特に完全な水枕はミツワ水枕であります

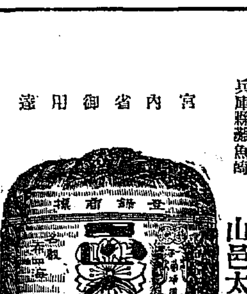
〇ミツワ水枕　は枕の內に隔壁を設け中へ氷水を入れると自然に凹形になるやうに製してあります。故に兩端が高く中央が凹んで居ますから頭を冷す力が最も完全で、締金も多年苦心の結果漸く案出したもので、素人にも御婦人にも容易く使用する事の出來る誠に理想的のものであります。



（特製縮圖）（大形寫眞圖）

內科　眼科　小兒科　京城黃金町三丁目赤門通（電車停留所前）
本田醫院　院長　本田建義
附屬　京城肛門病痔疾療院　入院隨意　肛門病痔疾　特種注射根治療法解說書入用の方は郵券十錢
電話一四四三番　振替京城三三八番

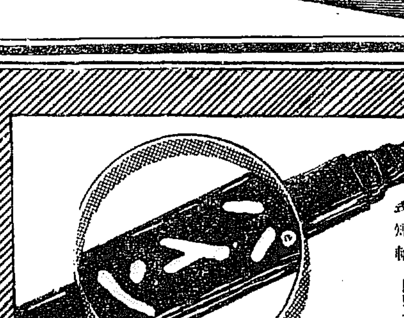
兵庫縣灘魚崎　山邑太左衞門釀造　宮內省御用達



サクラ正宗
櫻正宗發賣元　京城明治町二丁目　山邑京城支店　電話長八四九番一四五四番　振替貯金口座京城七五番

京城西小門町一二番地　**田中丸病院**
院長　醫學士　田中丸治平
副院長　醫師　上野和夫
【入院隨意】普通病室隔離病室の設備あり　電話八八五番

金ペンの氣持よく走る　心地と体裁の良い萬年筆はパイン萬年筆に限る
細字用金ペン　八圓八十錢
最新考案出　六圓八十錢
インキ止式短軸　四圓九十錢
實用向三圓八十錢　學生號二圓八十錢　ビジネスペン（一圓九十五錢）



內科　小兒科　入院隨意　京城旭町一丁目（電話六九一番）
小林醫院
院長　醫學士　小林千壽
副院長　東北醫學士　戸川武
永登浦分院長　醫師　久保廣次

當銀行ハ預金貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城　**朝鮮銀行**　振替貯金口座京城三三三番　電話六〇一番
支店　東京、大阪、神戸、下關、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、羅南、會寧、安東縣、奉天、濟南、滿洲里、齊々哈爾
出張所　大連、青島、長春、開原、四平街、旅順、營口、傳家甸、龍井村、鄭家屯、上海、遼陽、天津、吉林、哈爾賓、鐵嶺
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

內科　胃腸病　診察夜九時迄
京城本町一丁目　**石川醫院**　電話一二三七、二〇九番

大阪商船汽船出帆

（仁川出帆）
群山大阪行　第二久美愛丸　二月廿八日　正午出
木浦大阪行　信濃川丸　三月一日　正午出

（元山出帆）
西湖津、新浦、城津、清津行　安平丸　二月廿六日　後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　大信丸　二月　日　後九時出

（大連出帆）
上海、基隆、打狗行　基隆丸　三月一日　前六時出
湖北丸　三月十九日　後六時出

內地各港出帆主要航路
歐洲行　一年四回　北米行　毎月一回
南米行　一年四回　孟買行　毎月一回
濠洲行　毎月一回　南洋行　毎月一回

◎外航航路ノ詳細ハ……
御出帆御乘船ノ節ハ……
京城　大阪商船株式會社仁川支店　電話二二番二二〇番五五〇番
仁川港町一丁目　切符發賣所　京城本町二丁目　…　電話七〇八番　二六一番

尼崎汽船仁川出帆

群山木浦下ノ關大阪行
赤城丸　三月五日　後四時出
大有丸　三月九日　後四時出
神代丸　三月十二日　後四時出
秀吉丸　一月　日　後四時出
君が代丸　一月三十日　後四時出
仁川海岸通二丁目（電話五九番）　高杉回漕部

朝鮮郵船出帆

敦賀行　清津、城津、元山經由
平安丸　二月廿八日　清津發　三月一日　元山發
浦汐行　大阪發、門司、釜山、元山、城津經由
平壤丸　三月四日　釜山發　三月六日　元山發
雄基行　元山、各港經由
京畿丸　三月一日　釜山發　三月四日　元山發
雄基丸　三月六日　釜山發　三月十日　元山發
▲元山雄基線　元山起點各港經由雄基
穩城丸　二月廿七日　元山發
▲大阪行　元山、城津、神戸經由
大保丸　二月廿六日　元山發　二月廿八日　釜山發
▲関門行　城津、元山、各港
忠淸丸　三月九日　元山發　三月十二日　釜山發
成鏡丸　三月十三日　元山發　三月十七日　釜山發
▲金剛山遊覽便　元山發長箭經由…
▲濟州島行　釜山發浦項及各地經由　咸德丸　三月三日　釜山發
▲釜山浦項線　釜山浦項相互ヨリ毎日一回出帆
▲濟州島行　釜山發長承浦、麗水　昌平丸　三月四日　釜山發
▲濟州島行　木浦發
▲東廻　西廻　慶興丸　三月六日　公州丸　三月三日　木浦發
▲釜山麗水線　釜山麗水相互ヨリ毎日一回出帆
▲木浦麗水線　木浦麗水ニテ接續　第大丸　三月一日　木浦發
▲多島海行　木浦發多島海各島行　昌盛丸　三月三日　木浦發
▲木浦行　仁川發各地經由　全州丸　三月三日　仁川發
▲海州行　仁川發江華島經由　海州相互ヨリ毎日一回出帆
▲鎭南浦行　仁川發各港經由　丸　三月三日　仁川發
▲大連行　青島經由　江原丸　二月廿六日　仁川發
本京城南大門通（電話長一九五二番）
釜山　山佐藤町　元山　海岸通　仁川　代理店　木浦　代理店　京城　荷客取扱所
其他各寄港地ニ荷客取扱店

汽車發着　京釜線（南行）　同（北行）　湖南線（南行）　同（北行）　京義線（北行）　同（南行）　京仁線（仁川行）　同（京城行）　京元線　[illegible]

京城日報

露西亞救濟法

聯合國の政策不徹底

チエック、スロワツクの西伯利特別委員ダルサ博士は過般浦鹽にて大要左の如き意見を發表したり

△却つて險惡　チエツク、スロワツク軍が露西亞國民及び文明各國民の感謝と好意とを得たるは實に歷史的の事實にして各國民は互ひに競ふてチエック、スロワツク及び露西亞國民を援助したり而して是實に不幸なる露西亞國民を救濟せんとの誠意と眞實なる努力の致せし所なり然るに其の結果は果して如何なりしかチエック、スロワツク軍の戰線に於ける異常なる努力と犧牲との費されてより茲に六箇月は經過したり而して數千のチエツクスロワツクの精銳及び愛國的露西亞兵は失はれ他の數千は病院に横たはり居るなり然るに西伯利に於ける狀態は何等の改善進步を見ざるのみならず忌憚なく云はしむれば半年前より一層險惡と爲れりと云ふを得るなり

△人情の變化　戰線に於ける戰鬪力は日々に減少し飢餓、物資の缺乏、失業勞働者の增加等は急激の勢ひにて險惡の域に進みつゝあり鐵道は目下殆んど休止の狀態にあり鐵道は賄賂詐欺盜賊の巢窟となり同時に不正なる山師の異常なる利得の原因をなしつゝあり西伯利鐵道に依る旅行は今日に於ては生命を賭する大冒險事業なり露西亞に於ける全階級は破壞され既に權利正義及び義務等の觀念さへも存ぜざるに至れり數千の露國俘虜は目下露西亞より歸還しつゝあり而して過激派の所有る方法を以てする勸說にも應ぜず空腹と寒氣と戰ひつゝ數百哩を厭はず徒步にて旅行せんとする強き人々も彼等の前に横たはる辛苦は彼等をして遂に絕望の餘り過激派のプロパガンダに屈するに終らしむ又他方面に於て有產階級も日々目擊する人生の慘澹たる光景は彼等を冷酷無情なるものたらしめ他人の苦を救ふが如き感情は失はるゝに至れるなり政界の狀態も異常なる混亂の內に陷れり一政黨中に於ても反目と爭鬪は常に行はれ政府は政綱を公明正大に發表する事なく軍隊の不正なる行爲に對しても之を制肘するの能力なく又社會黨に對しては檢閱、言論結社の自由の廢止、人望ある領袖の追放を以て互に爭ひ居れり

△原因は如何　是れ半年前チエック、スロワツク軍の活動を手を額にして歡迎したる西伯利の今日の現狀なり而して此狂亂の中に在つて遠きウラル山中の森林にチエック、スロワツク軍は眞正の露西亞の愛國者と共に雪に埋れし險惡なる過激派に對抗して居るなり斯くの如く堪へ難き狀態を繼續し居る原因に付きては多々あるべしと雖も其の主要なるものは內部的原因及び外部的原因に分つ事を得前者の原因中の主なるものは政黨間に於ける政權爭奪の爭鬪なり實に人類の歷史に於て革命以來露西亞に行はれたるが如き熱心なる愛國的演說の行はれたるは曾て在らざりし所なり意見の相違は如何にして露西亞の救濟は可能なりや如何なる方法に依り實現さるゝやに在り而して多數の露西亞國民は憲法會議を以て唯一の救濟方法なりと思惟し之が目的の貫徹の爲めに全力を盡し他の論者は憲法會議は必ずしも唯一の手段には非ずして寧ろ危險なるのみならず露西亞國民には時期尚早なりとなし過激派を恐るゝの餘り只管彼等の生命財產の安全を期し得るものなれば如何なる政體なりとも可なりと主張し第三の團體は帝制時代を忘れ能はざる復辟派なり彼等は過激派を除きて最も殘忍なる政派にして政爭の爲めには多くの點に於て過激派と同一の手段を選ぶ即ち露酷、威嚇等所有る暴行は彼等の慣用の手段にして露西亞國民は帝政派の恐る可き陰謀を恐るゝの餘り過激派さへへ妥協するに至れるものなり

△出兵不徹底　聯合國がチエック、スロワツク軍を援助し西伯利に軍隊を派する事を宣言したるより既に半箇年は經過し異常の努力と幾多の生命の犧牲と莫大なる出費を以てしたるに拘らず露國民は今日聯合軍の成功を認むる者少し而して聯合出兵の不徹底は西伯利混亂の外部的原因を成すものなり即ち聯合出兵の當初豫期したるが如き成功を收むるを得ざりし主要なる原因は內政不干涉主義に在り斯くして出兵を不徹底に終らしめたり露西亞國民は寧ろ聯合國の主動的大規模の干涉を要求し以て內政の改善發達に資する所あらんと欲する者あり

△對聯合國觀　露西亞に於いてはデモクラシーに關する歐洲及び米國に於ける見解を解するに困難を感ずるもの多く露西亞に到達する不充分なる報道に據る時は聯合國は露西亞に於ける如何なる干涉もデモクラシーの觀念に反すと宣言せるが如く了解せらる、斯くの如き見解は過激派を以て民主々義者と解するに基因するものなるも露西亞に於ては童子と雖も過激派は眞正のデモクラシーと全然背馳するものなる事を知る然らば聯合國の逡巡は如何にして說明さるゝや露西亞人は聯合國の躊躇を以て聯合國の利己主義なりと解するの外なきなり而して又露西亞國民は國際聯盟に關し多大の利害を感ずると同時に國際聯盟創設に關する努力に一種の苦々しき感情を抱く露西亞聯合國のデモクラシーは如何なる理想を論ずるも露西亞の現狀に就き默然たるは其の解する能はざる所なれば也露西亞の民主々義は平和會議に出すべき露西亞の代表者中に過激派の代表者を入らしめんとする聯合國のデモクラシーの、世界は公正、正義、人道なる高尙なる言葉の音樂に喜悅し居るも氷に閉されたる西伯利の露西亞人の耳には冷笑として聞ゆるのみ而して更に失望と落膽との苦き意識を喚起するのみ

△東露の要求　西伯利に於ける聯合軍の從來の援助は主として物資に關するものなりしも今日露西亞の要求する所のものは武器資金及び鐵道の改良一般的援助にして而して是れとても軍事的干涉を伴なふに非ざれば何等の効果を收むる事を得ざる可し蓋し過激派の毒手は巨資を投じて成るものと雖も直ちに破壞し去る可ければなり又假令武力干涉及び經濟的援助の同時に行はるゝ可しと雖も露西亞改造の成果を收めむとせば過激派政府を討滅し過激派軍を解體するを以て第一の必要なる條件とせざるべからず而して露西亞國民が何等の壓迫を蒙らずして自由に政體を選定し得るまで聯合軍に依る秩序の恢復平和の維持を必要とす斯くの如き聯合軍の干涉にして初めて露西亞國民は双手を擧げて歡迎す可きなり。

財界の新舊人（44）

麻生音波君（上）

西海生

鐵礦業家

渾身これ乃ち鐵石、麻生君はその人が掘り出した鐵礦石になつてゐる——とは君を知れる人の評語である、朝鮮內に有する君の鐵礦區は百餘に上り、その包藏せる鐵量は億を以て算するであらう、君は正に朝鮮の鐵礦王たるの地位にゐる、思ふに來ご礦も君の現在占め得た如き地位に達し得る人は容易にあるまい、何故ならば鐵礦に對する君の熱心、執着、眼識、膽力は學んで得易からざるものだからである。

▲君はその經營にかゝる麻生礦業社、並に君個人の所有たる安岳、殷栗、黃州、价川、雲韻等を主とする諸鐵山より、本年採掘する鐵礦の量は合計四十五萬噸に達する計算と云ふ、それを內地並に朝鮮の各製鐵所に供給するのであるが、四十五萬噸の鐵礦石よりは二十餘萬噸の鐵を產する事となる、君の吾が製鐵界に於ける勢力は決して微弱なものでない。

▲麻生君の今日は、殆んどゆるぎなき地盤と基礎を築いたのであるが、明治三十七年の渡鮮後、朝鮮の鐵礦の將來有望なりと見込んで、此方面に專ら手を染むるに至つてから、君の浮沈辛酸はなみ大抵でない、常人ならば夙に困難と逼迫とに到底堪へ得で、挫折頓挫したであらう、然るに君は飽くまで初一念を貫くべく猛進した、鐵石の如き堅い信念と何者も撓き盡す超人的の熱心とを以て、前途の障礙を突破して來た、世界大戰が帝國の製鐵事業を旺盛ならしむべしとの豫測を君は必ずしもなし得なかつたであらう、然し鐵は國家存立上缺くべからざるものとすれば、一度は必ず盛運に際會する、その曉、朝鮮の鐵礦は必然芽を出すものと云ふ自信は何人がどう云つても有してゐたらしい、君が今日朝鮮の鐵礦王たる地位を占め得たのは、決して偶然でも僥倖でもない、努力と熱心と執着が當然來らした收穫である。

▲既往十年間、麻生君が安岳礦山經營者として八幡製鐵所に供給した鐵量は五十萬噸を下らぬらしい、然し本年からは一年に過去十年間の鑛量若くばそれ以上を採掘して行く計劃を君は立てゝゐる、卒然之れを聞けばいかにも君は誇大な事業をやるやうに見ゆるが、事實帝國に於ける製鐵事業は、戰爭開始以來——寧ろ本年以降、長足の進步發展を來してゐるのであつて多年君の如く、多くの鐵礦區を手に入れて來た者は、當然その供給を殖やし得る立場に立つてゐる、君やまたその他の鐵山經營者は多年隨分苦勞もして來たが、待てば海路の日和で、漸く當り年が來た譯である。

▲唯大戰の終熄と鐵價の激落を來した、思ふに外鐵の壓迫は今後吾が產鐵にとつて大なる痛苦であらう然し鐵礦石の供給に對する君の採算は、鐵價が戰前に復するも優に引合ふと云ふにあるらしい、今日の如く噸に數圓若くは十圓以上の利を得るは望外の事としてゐる、旁君の鐵礦經營は前途何等の懸念を要せぬもの、やうである、鐵が下つてゐるが鑛石はどうだと君に聞いて、君が笑ひ乍ら呑ん子の酒蛙としてゐるのはそのためであらう。

烏堂氏の『俳句の趨向に就て』を讀みて

詩夢非生

八

更に調に就て烏堂兄は大聲疾呼せり曰く。

「一度從來の風調を突破して、風調さへも反古も對壌たる世間味、生活味といつたものに、詩の生命たる表現を與へようとする時、之と順應して風體を一にし、共鳴を齊しくするもの、必しも五七五の調律下に在らざるを見る。すれば當然である。（中略）假りに我等の經驗から云つて見ると、俳句に俳句の調があるのである。たとへば短歌と同字數に達したものでも、短歌は短歌、俳句は俳句の調を持つてゐる。」と曰く。

我等は信ずる。俳句の調は少くも一定ではあり得ないと。調は想の赴く所に隨ひ、調の爲めに想を曲げるとは、はない。想は調を作り、想は主で、調は從である。想の前に調を豫期することは不可能である。豫期されたる調はいつでも想の束縛者である。と。兄の主張は吾等乃ち之を聽くことを得たり。吾等は短詩の一形式として、かゝる形式の詩の正しくあり得べきことを思ふ。此の點に就ては何等の異議もなし。しかも兄等は何故に強て之を俳句と名付けねば氣の澄まぬもの、如く然るか。

九

いふまでもなければ、長歌には長歌の歷史あり、短歌には短歌の歷史あり。川柳には川柳の歷史あり、俳句亦然らざることを得ず。若し川柳が俳句より出で、俳句が俳諧より出で、俳諧が連歌より出でたることいふの故を以て是等をすべて皆俳句なり、俳諧なり、連歌なりと云はば、味噌も糞もゴッタクタなりと謂はざるべからず。若し『我等の俳句』が俳句より出でたるが故に俳句なりと云はば、是れ川柳も俳句より生れたるが故に川柳は俳句なりと云ふ何ぞ擇まむ。吾等は何故に『我等の俳句』が他の適當なる名稱の下に大に天下に旗幟を翻さゞるやを怪しまざるを得ず。

十

心もとない提灯であつて椿の咲いてゐることを語らず　坡柳

椿咲く南よりかへつた感興の話題の海也　不考郎

（二月二十三日京日所載）

右の二句は二首といふのむしろふさはしきを感ず。詩といはむよりむしろ散文といふのふさはしきを感ず。しかも何故に之をしも『我等の俳句』と言はねばならぬ乎。

歷史と地理特別號

日本古代の文化

◎二月特別號　本號に限り一冊五十錢 郵稅二錢

口繪　◎日本書紀寫本 ◎瓢形古墳と車塚 ◎道明寺の千塚 ◎古墳出土の古鏡 ◎石棺と石槨 ◎埴輪 ◎彌生式及祝部式土器 ◎挿圖數十葉

上古の狀態……內藤文學博士
日本人種論……沼田賴輔
日本書紀……鈴鹿三七
現代日本人と石器時代住民と……醫學博士 長谷部言人
古代の市について……橋川正
古代の祭祀……清原文學士
日本先史人類論……松本文學博士
日本の古墳……濱田文學博士
上古の文化……西田文學士
言語の研究と古代の家族制度……文學博士 金澤庄三郎
◎本居の古代史研究……古田文學士
◎武器と石上神宮……宮地文學士
◎古代文學と衣食住……阪倉文學士
◎原始の織布工業……栗野秀穗
◎日本古代の住居……高橋健自
遺物より上の古代北九州文化……醫學博士 中山平次郎

東京京橋區南町・大阪南區三休橋際 株式會社 大鐙閣（振替東京三六一 大阪七五一）
◎賣捌 大阪屋號書店

新石油 國旗 犬印 活版インキ
各油類一式 石版
卸小賣 炭山成德用品
貿易雜穀商 今藤富國太郎商店
京城本町三丁目 電話長一三〇八 振替京城一九〇二番 電略（ク）ヌハフ

淑女畫報

三月號
口繪 園遊會…初咲…
英雄の背後
蘆花氏と愛子夫人
春宵の團欒
吾妻の大阪婦人會
松園女史邸新年試筆會
玉葉女史邸新年試筆會
鴫川千鳥花形
自殺と再婚
死刑の前後
心の家……大倉桃郎
定價四十五錢 二錢 東京 株式會社 博文館

◎有難頭十二、十六、二十番徑百二十圓以上
◎無難頭十二番徑二百五十圓以上
英國製 二連獵銃新荷着
最新式 ◎最新式英國製獵用具種々新荷着
◎護身用ピストル壹千挺新荷着
横濱市本町 合資會社 金丸銃砲店
電話本局一五五番 振替口座東京四七一番
【定價表郵呈】

最新刊

論語講義　細川潤次郎、南摩綱紀共述　四・五〇 送料二四
日蓮國家觀　田邊善知著　一・五〇 八
姉様とさつまいも　ハイネ詩集　生田春月　八五 六
最新鑛山と鑛業法　岩永、丸山共著　武〇〇 六
世界大戰史 前編 傑作六八編 特價六圓 送二十四錢
大阪屋號　京城本町一丁目

朝鮮總督府遞信局
電話交換機外電話用品廿貳點右購買入札ス詳細ハ二月廿七日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
一四尺腕木 …… 二月廿六日ノ本府官報ニ在リ

新案獨學 イロハ辭典付
鮮語自在
誰れにもすぐに間に合ひ——必ず上手になる理　想的新案 獨學書なり
定價五十錢 送料七錢 代金引換 小包十二錢　ポケット形二百頁
發賣元 京城太平通 京城日報社代理部（振替京城三〇〇番）
取次販賣所 △大阪屋號 △岩松堂 △日韓書房

朝鮮
保險料は全部之を株式會社朝鮮殖產銀行に預入れ以て間接に地方產業の開發に貢献す——殖產銀行本、支店に於て便宜當會社當座口へ保險料の拂込みを受入るゝことに協定す
本社 東京市有樂町三丁目 取締役社長 大谷嘉兵衛
常磐生命保險株式會社
滿洲
支部 大連市磐城町四十八號 滿鮮部長 室富清輔
保險料は全部之を株式會社朝鮮銀行大連支店に預入れ一定金額に達するを待つて滿洲啓發に資すべき有望確實なる事業に投資す——外國人に對しても契約上何等區別を設けず
日鮮支那文案內書進呈
滿鮮各地に代理店あり

輸出入商
合資會社 米井商店
東京市京橋區銀座二丁目
大阪支店 大阪市東區今橋四丁目
京城支店 朝鮮京城金町二丁目廿九番地
支店及出張所 神戶、横濱、横須賀、吳、長崎、舞鶴、門司、佐世保、臺北、大連、青島、倫敦、紐育、グラスゴー、メルボルン
海陸軍、鐵道、艦船、鑛山、土木、築港、電氣、瓦斯、蒸氣用諸機械、鐵鋼材料、製紙原料、肥料及織物其他雜貨輸出入販賣業
世界著名ノ內外製造會社五拾八社及英國五大保險會社ノ代理業

海陸軍、鐵道、造船、鑛山、電氣、瓦斯、其他諸工場用護謨一切
ゴム管、板、パッキング、ロール、マット、調帶、タイル、エボナイト等
自動車、人力車、自轉車、飛行機用タイヤー及中袋各種
海軍省指定工場
合資會社 明治護謨製造所
東京府下北品川
總代理店 銀座 米井商店販賣部

[illegible]石四百萬圓、[illegible]は大阪電球始め二三社が殆ど獨[illegible]利益を得た爲めに常に多額の資金を蓄積し他日の競爭に備居るのみならず其製造に關する世界的特許を誇稱して新會社の設立を壓迫[illegible]何せ[illegible]けこれ[illegible]ストに對する有力[illegible]を集めて居る[illegible]れば止むを得ず成ものである然に[illegible]日の[illegible]

▲電燈經營　は電球の選擇により社の利益を左右せらるゝこと[illegible]更に[illegible]を尼ヶ崎市外[illegible]村に新設し來三月中旬之が竣成と共に現工場を全部移轉し一箇年少くも三[illegible]製品を使用し居るが此結果如何により漸次多數の供給を仰ぐべく[illegible]支店に於ては既に關西電球の獎勵の意味に於て之れが取消を要望せられつゝある一方に於て[illegible]

▲製品不廉　なれば有力な[illegible]が今後兩者間の競爭益猛烈を加ふべく觀測されて居る（大阪）

下關期米

	寄付	高値	安値	止め
前場	三八、九六	三八、〇八	三七、九一	三七、九九
後場	三七、五四	三七、五四	三七、二八	三七、二八

本紙定價 壹ヶ月七十五錢 ▲郵稅 一錢 / 發行兼編輯人 奧山直記 / 印刷人 小川三之介 / 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

第四十一回帝國議會

貴族院本會議（二十六日）

總督府醫院及濟生院特別會計法中改正法律案可決

午前十時開議、徳川議長（頼倫侯）議長席に著き、伊東義五郎男逝去に就て弔辭を贈る事、同男決算委員の補缺を指名する事右兩件を命じ次いで林伯の動議に依り日程變更佛首相クレマンソー氏遭難の決議を附議し林伯の説明あり次いでクレマンソー氏今回の災變に深甚の同情を表し其速かならんことを祷るの決議文を満場一致可決次いで日程に入り

朝鮮總督府醫院及濟生院特別會計法中改正法律案

上程柳澤委員長登壇委員會の經過を報告し終つて石黒忠悳男患者一人當り經費幾許を要するやと質す之れに對し鈴木政府委員（度支部長官）右は次回に詳細辯明す可しと答へ次で柳原伯より二讀會を延期す可しと提議し大木伯の賛成あり延期す

大正七年度各特別會計豫算追加案　淺田委員長の報告あり本案決議は日程第一と關係あるを以て延期決定

大麥小麥粉の輸入税減免に便する法律案

高橋議員提案理由を説明し鈴木兵衛氏の質問あり委員附託

第一回國勢調査施行に要する法律案

朝鮮總督府醫院及濟生院特別會計法中改正法律案　上程午前に於ける石黒男の質問に對し鈴木政府委員（度支部長官）は醫院の昨年中に於ける入院患者は百七萬一千人施療患者百七十三萬五千八人合計二百八十萬六千人に上り經費は合計六十七萬三千七十九圓平均一人當り二十三錢一厘となり濟生院の經費は三萬一千八百餘圓なりと答へ次で石黒男より尚詳細なる統計の提出方を要求し夫より第二第三讀會の順序を經て委員報告通り原案可決確定

次ぎに大正七年度各特別會計豫算追加案（豫第一號）を議題とし讀會の順序を經て異議無く委員長報告通り原案可決確定之にて日程に復す

大正七年法律第三十七號中改正法律案（朝鮮牛牛肉移入税免除）

上程柳澤伯所から重要案に就ては法制局長官の説明ある可き筈なりと横田長官の缺席を詰するや高橋……

……委員長報告通り可決確定

戰時利得税法中改正法律案　海軍工廠資金會計法中改正法律案　作業會計法中改正法律案所見を質し高橋藏相答辯可決確定

仁尾委員長委員會の經過報告鍋山勝太郎氏希望條件に對する政府の所見を質し高橋藏相答辯可決確定

兩案一括河村委員長の報告あり石黒忠悳男は火藥會社を買收し研究の結果更に爆發力の優越せる火藥を發見したる時は之を英國に通知する義務ありやと質す柄内海軍次官義務無しと信ずと答へ讀會省略可決確定

國債整理基金特別會計法中改正法律案　林委員長報告通り可決確定

裁判所設立に關する法律案　大正二年法律第九號中改正法律案　不動産登記法中改正法律案

右三案一括堀田委員長委員會經過報告小野田元熈氏御原伯等の質問に對し鈴木司法次官の答辯あり次で第一案は第二讀會を開くに決し他二案を一括採決し議長は第二讀會に入る可しと宣し午後零時半休憩午後一時四十分再開日程變更午前中延期となりたる日程第一第二の第一讀會の續きを開き先づ……

柳原伯理由を述べ九名の委員附託次で銚子港修築の件、但馬區裁判所復活の件、青森縣西津輕郡鰺ケ澤村に登記所設置の件、都城福島間鐵道敷設の件、津輕線を杉安迄延長の件、山口縣豐浦郡豐田下村に三等郵便局設置の件外六の建議案、細川議員より委員會經過報告あり全部採決散會す（東京特電）

廿六日夜入城の倉富勇三郎氏（南大門驛にて）

◇講和締結期觀測

講和會議は六月一日若くは夫れ以前調印を見る可しと一般觀測し居れり希臘に對してはドデカニース群島及びロードスは多分讓與さるべきもスミルナを與ふる如き事はなかるべし賠償委員會は賠償中に償金をも含む事に決せり（巴里電報）

〔備考〕スミルナは小亞細亞の西岸多島海に臨む良港、人口三十五萬交通盛にして乾葡萄等の輸出多し又附近より多く寶石を産す

◇我南洋統治賞讃

海軍省發表＝在シドニー清水總領事報告、同地著名の新聞記者トーマスマホンは過般來我南洋諸島視察を終たる後本官（清水總領事）を訪問し帝國植民地殊に土人狀態改善其他一般統治方法に關し目を瞠り……

◇支那鐵道國際管理中止

支那は人種差別撤廢問題に就き何事か提案す可しと傳へ鐵道國際管理は國務會議にては之を中止するに決し問題とならざる可し（北京電報）

◇巴威内亂益擴大

巴威首府ミューニッヒは首相アイスネル暗殺以來各商店は戸を締め鐵道は運轉を休止し各市亦同盟罷業に依り内亂勃發し一萬の職工は行列を造りて郊外より市内に繰込み激戰を開始せりスパルタカス團には知名の無政府黨員加わり武裝せる自動車に分乘して陸相ロスハウプターを射殺せり因に陸相は過激議會にて負傷したりと（倫敦電報）

◇波軍プレストリトウスク占領

波蘭軍は激戰の後プレストリトウスクを占領せり（セナバ電報）

◇徴兵廢止案失敗

英國の徴兵廢止提案は佛國が外國の後援を得て強硬に反對せる爲め遂に葬り去らるゝに至れりと又一説には日本は之れなくば眞の國際聯盟成立が無意味に歸すべしとも言ふ可き重大提案を爲したるも殆ど耳を藉す者無かりしと（倫敦電報）

◇支那米輸出條件

支那米輸出に就き財政部が日本に提出せる條件の第一（北京電報）……（一）約二百萬石を三箇年に輸出す（二）輸出時期は財政部之れを定む（三）米價騰貴の際は輸出を中止す（四）日本商人は一擔に就き一元を納付し各種雜税を負擔す可し

◇三總長辭意を漏す

財政總長龔心湛氏は各省の教育長、實業長問題より傳教育總長、田商總長の反感を招ぎ遂に傳、田兩總長は辭意を漏らせりと（北京電報）

◇薩巴里行辭退

陸鎮氷氏（海軍上將海軍總長）は巴里會議に赴くを辭退し來れり何等かの理由伏在するに非ずやと疑はる（北京電報）

◎山縣政務總監　倉富帝室會計審査局長官車中談

山縣老公爵病篤しとの報に接し去る十三日京城出發急遽東上せる山縣政務總監は廿六日午後九時十分南大門驛着列車にて歸任せるが氏は京釜車中にて語る『今回の東上は父の病氣見舞は勿論であるが李太王殿下國葬儀に就ての打合せが主たる用務であった

▲父の病氣は存外に經過よく十九日小田原に始めて見舞つた際も殊の外容體が良好で非常に安心して其の翌日東京に歸つた位である其後十八日と二十二日と兩度見舞つたが一回は一回毎に良好の經過を示して居た勿論老公の事であるから病後の疲勞は多少出たが從つて何人とも餘り永い對談は禁ぜられて居つたが目出度……』

◎倉富長官入城

帝室會計審査局長官倉富勇三郎氏は宮内省總代として國葬に參列の爲二十六日午後九時南大門驛着列車にて入城し倉富前司法部長官の官舎に入りたるが南大門驛には總督府高等官……法務局長其他出迎へあり……

◎政務總監歸任

山縣政務總監は國葬に關する用務及び老公爵見舞の爲東上中の處二十六日午後九時十分南大門驛著列車にて遠藤秘書官帯同歸任せり尚令夫人は今回は東京に留まり歸鮮せず

◎木下中將歸東

砲兵監木下宇三郎中將は過般來北鮮部隊視察中なりしが二十六日午後龍山に歸著少憩の上同夜七時五十分南大門發列車にて歸東の途に就けり

◎管長瀧智大師入城

眞宗國柱會講師管長瀧智大師は二十六日夜入城せり

◎朝鮮經濟界概觀（二）

總督府度支部調査

出兵決定後に於ける商況の好轉は……轉じて金融の逼迫を見るに至り米穀相場の漸騰と綿絲布類の暴騰に依り三月以降は緊急に……

△管理の發表　出兵決定……内地に於ける米の……一般商況は……七月以降米價は鮮米……

△不時の繁忙　行に於ては米界の變調に鑑み貸出を減ずるに至れるが九月に入りては各方面の調節の設置に加へ十月の大牛に至り鐵道特別輸送の爲一般貨物の荷動き杜絶し商況沈滞せしを以て金融も自然閑散に……

△感冒の終熄　漸く十二月に入り感冒の終熄……

△取引の膨脹　……

△手形交換高　……

△現在發行高　……

◎萬端決定し

……

◎宮内省總代

……

◎紐育金利昂騰　株式界好調

二十一日紐育の株式は強氣にて出來高八十萬株を算せり……（紐育電報）

◎英國輸出貿易擴張策

英國製造業者の協會は『サーチャールスマンドベルグ』の主張に基き英國輸出貿易擴張のために連合を結び且つ八千の工場より成る合同を形成し外國貿易に對する協議を主張せり……（倫敦電報）

◎東京奉天線成構

……東京大連線（京城東京二番線）と稱したる東京京城間三番線を二番線と成したるに付……

◎鼻米解禁疑問

……

◎生絲益々不況

二十五日……信州上二番は六十四圓……

◎英副領事代理

過般來京城に赴任せる英國副領事代理ロバート、ボルター氏は二十六日午後三時總督府に……就任の挨拶を爲せり

◎鰲口瘡と貨物

牛の鰲口瘡に就ては豫防防遏に腐心し……病牛あれば病牛を牽き入れず又罹病牛發生の面より牽き來るものあれば自己面内に牽き入らしめず……川江の交通を遮斷されたるを以て平北地方より移入する貨物は殆んど姿を沒せる有樣にて同地方の商況は非常に困憊しつゝあり……ては之等の物價に影響を及ぼすべきは勿論延いて産業上に障害を來たし將來移出牛の聲價を損傷する……

東京現株特電

二十六日……

仁川期米

二十六日後場……

優秀なる鑄鐵調性劑の大發見

▲鑄鐵界の一大福音

製品の優良と工場の經濟とは共に戰後に於ける鑄鐵界の一大生命也而して此の要求を充すは斯界の重鎭本社技師長理學士彦坂氏發明の鑄鐵調性劑テンパー也

世界的大發見大發明

◎テンパーの威力

一、鑄鐵中に有毒なる酸素の侵入を防止し尚存在するものを排除す隨て鑄物の「ス」を減却せしめ軟靭性を增す

二、原料中より硫黄を除去し鑄物をして軟かならしむ

三、鑄鐵中の鎔滓を除去し鑄鐵の強さを增す

四、鑄鐵中の硅素の量を增し鑄鐵の結晶を大ならしめネバリを增し仕上を容易ならしむ

五、熔解狀態に於て湯の熱を上げ尚流動性を增さしむるを以て薄き鑄物の製作を容易ならしむ

定價　一號（大物用）七十磅　七圓八十錢　二號（小物用）十磅

◎今や斯界はテンパーの使用に一刻の猶豫を與へず

斯の如く偉大なる効力を有するテンパー一度世に出づるや其驚くべき効績は忽にして各地よりの註文山をなし……

製造販賣所　東京市京橋區銀座二丁目十三番地　内國殖産株式會社

純甘五馬力吸入瓦斯發動機

製造年、大正三年大阪發動機株式會社製……

諸機械製作工場　若泉武之助

現今の思想問題を讀め

最新刊

本多日生先生著　野島草民先生著

日蓮の勤王主義

法華經の行者たり佛教界の大人格者たる日蓮は又熱烈なる勤王主義者たり……念佛無間、禪天魔と共に我れ日本の柱とならむ我日本の大船とならむ……

田邊善知先生著　日蓮聖人の國家觀　日蓮宗教義大意

發賣　京城本町　大阪屋號

新刊　富士川游先生序　佐々木憲德先生著　修養としての療病法　定價七十錢　東京日東堂

各種旅行鞄

海へ陸へ旅行の好季は目睫に迫れり

入形皮製　ワングル製　手提形皮製　同ワングル製

京城日報代理部

商業登記公告

……

京城地方法院

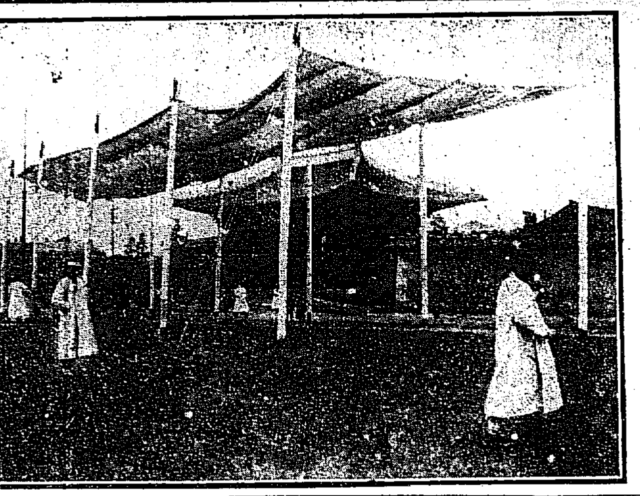
…[illegible]…にあつても取引所内其他…強粉に於て錯綜の…[illegible]…消費地にては陸揚委員を派遣し豫防…防過中なるが各屯村に於ても隣接…おなじこれが爲め貨物の運搬に影響を及ぼし昨今穀類新炭類の出廻り減少し就中安州地方の如きは殆…沿岸地方の耕牧に…せしむるか方法を講じつゝあり…て爾後豫口瘡が益々蔓延するに於…二十六日

東京株式

[illegible]

大阪株式付電

[illegible]



◆大漢門前の遮日

國葬に加へらるべき大輿の奉送豫習が來る二十八日に催される筈である。寫眞の遮日は廿六日午後大漢門前に急設されたもので豫習當日大輿は此の遮日の下に置かれることになつて居る。

◯擔軍二百　引軍二百四十

大輿に附隨して鹵簿に加はる

國葬當日大輿に附隨して鹵簿に加はるべき者は總員四百五十四人にして之を内別すれば擔軍百九十八人、引軍二百四十人、隊備員四人、新軍員十二人、邊首二人、要六人なりと云ふ

◯北鮮は初見參

羅南は將來面目を一新せん

野戰砲兵監　木下中將車中談

二十六日、北鮮部隊視察中であつた野戰砲兵監木下宇三郎中將を京元線車中に訪ふ、内野第四十旅團長、宮塚第七十九聯隊長等も一緒である、中將は恰度

▣書見　の最中であつたが記者が刺を通じると早速書物を傍に押遣つてボツ〳〵語る、「野戰砲兵監は會寧まで行かれたが、私は羅南へ一晩泊つただけで直引き返して來ました、羅南には野砲兵聯隊があるので其教育狀態を視に行つたのです

▣羅南　のみならず北鮮地方には始めて見參したが元山若くは咸興の海上も至つて靜穩だつたし陸地の外に暖かくもあつたので非常に仕合せた、何分飛脚

▣旅行　の事とて專門の視察以外の事物に對して深く注意を拂ふと云ふ事も出來ず、從つて是と云ふ纏つた感想もないが羅南は近く第十九師團が移轉するのみならず目下鏡城に在る咸北道廳も移轉すると云ふから

▣將來　は大いに面目を革めるだらう、唯だ交通が不便なのは甚だ遺憾に堪へない、何れ五か十年の後には鐵道が開通するであらうが夫れ迄に最少し何んとか方法はないものか、今將北鮮南間には

▣臺車　が通つて居るが是は人力で推して行くので頗る鈍い其上向ふから來る臺車を待ち合さねばならぬので鈍い上にも鈍くなり難儀しい話にならぬ、交通の不便な結果は勿論生活の上にも

▣影響　し在住民は一般に少からぬ不便を感じて居るやうだが夫だけに又軍隊として非常に好都合な事もある、教育成績は却々好いやうだ」汽車が讓政府附近に差し懸ると中將は

▣感慨　深い面持で窓外を眺めながら「私は北鮮は始めてだが朝鮮には馴染が深い、此邊は日淸戰爭の始まる少し前に或重大な任務を帶び朝鮮馬で往復した事がある、そして步行客舍に

▣寢泊　りし步行客舍の飯を食ひつゝ困難な旅を續けたものである、當時步行客舍では私が日本人の故を以て飯代の如きも特に高く取つたが夫でも七錢五厘あれば二度も食へた、物價の高い此節の事を思ふと今更ながら今昔の感に堪へない

▣當時　の私の任務は所謂軍事探偵で無論軍服などは着て居なかつた」——中將は龍山で一日下車したが旅塵を拂ふ暇もなく、同夜七時五十分南大門發の列車で歸東の途に就いた

◯聖德太子

御傳と唱歌

＝を懸賞で募集

御忌奉贊會の事業　來る大正十年は聖德太子薨後正に千三百年に當るを以て太子が在せし斑鳩宮址の法隆寺にては聖靈御會を修し御廟所なる河内磯長の叡福寺にては追遠の式を行ふ筈にて太子御忌奉贊會は記念事業の一として太子御傳並に太子の

▽遺德を　讚美せる唱歌を募集することを發表し家庭若くは學校の讀物に充つるものにて三十字詰十二行約二百頁、期限は本年七月卅日迄とし賞金一等千圓、二等七百圓、三等五百圓各一人とし又唱歌は七五の四句三節にて賞金一等三百圓、二等二百圓、三等百圓

▽期限は　同前で共に來年一月發表の由、詳細は東京麴町區飯田町德川賴倫侯方の同會事務所に問合さるべし

◯綿布十割　米七割餘

諸物價に比して高過ぎる

戰亂の影響は從諸物品を奔騰せしめ殊に米價と綿布の昂騰甚だしく國民生活を脅威し呪咀の的となつて居る現狀に鑑み果して諸物價に比し騰貴し居るや否や試みに京城に於ける衣類の狀況を探見するに昂騰の類中最も多く常用せらる、

◇銘仙が　一昨年の此頃一反金七圓内外なりしもの現今にては四割高の十圓内外を保ちつゝあり木綿著に至りては其當時の十割即ち倍額の値段を呈し尙昨夏の罪

する迄もなく人間の寸刻も離るべからざる

◇衣食住　の三者の權衡を保つ上に於て米は確かに不當の高値である當今の相場として米食の性質から言うても升に三十七八錢が相應の價格である米の格外の昂騰は畢竟不足の促したる現象とは謂へ衣食住三者の水平線に至る迄は官民協同一致之が調節策に努力せねば成らぬ昨今漸次下向きの氣配を見るに至りたるは喜ぶ可き現象である

衣相場に比し今夏は二割高の豫想である然して紺布類は昨冬より二割安の狀況にあれど何れも小賣り相場に於て區々たる鮮商根性とも言ふべき商業振だから個人客として高價か安價か一寸辨別が付かない位である然して

◇家賃も　諸物價の騰貴に伴れて自然引上を見約三割の高を示し米は昨年の當時小賣り白米一升は二十五六錢で今月の四十四五錢は實に七割の昂騰である故に綿布類を除いた絹布類と家賃の四割高に對照して白米は三割即ち一升に六七錢の昂騰である今更呶々を要

◇獻上の濟州馬

御慈愛を賜ふ

一昨年長谷川總督から畏き邊に獻上した純朝鮮產の馬匹は濟州島の產光州憲兵隊福内場派遣所の隊馬で其名を光福號と名付けられた其の光福號は今や九重の深き邊に畏くも　陛下の御慈愛を賜はり此上もなき幸福の生活をして居る　陛下には時に馬場に出御遊ばされ近侍の者をも彼馬へ乘れと仰せ出され命を承はつて侍臣が乘ると小さい割合にきかぬ氣の光福號が跳返るので不意を打たれて落馬したりするものもあるが脊が小さいので勿論怪我をすることもない朝鮮馬名譽の光榮である

◯指定商人叱らる（釜山）

廉賣外米に不都合があつた

客年十二月下旬より今二月に亘り神戶鈴木商店の手に依りて搬入されたる廉賣米即ち政府管理の外米の殘部二萬袋が所謂釜山の指定商人十一人が

▲不當利得　を敢てし其筋より嚴重なる說示を受けたる事件ありたり今其顚末を綴ぜんに十二月下旬例の鈴木商店より釜山指定商人へ二萬袋の西貢米の送荷あり當時若松府尹は府内指定商人十一人に對し外米廉賣の件に付き示達したり然るに其後に至り各指定商人は府尹に對し『最初鈴木商店の店員來釜し政府管理の輸入外米の賣殘りの安物あり當地に回送すべきに付買受けざるやと云ふ交涉ありしを以て吾々は買受けの約束を爲したり而して右は廉賣の目的に出でたる條件付のものたるを知らず然るに其後に至り政府管理米なれば卸賣は石に付

▲五十錢の　口錢にて販賣せよとの命令なるも通例吾々米穀商は一石に付口錢は一圓以上を收得し居れるに該外米は延取引を爲さず現金にて支拂を爲し且つ荷揚さる手數料の利升減り等を計算するときは石五十錢の口錢にて卸賣するは甚だ迷惑に付相當の手數料を見積り卸相場百斤に付九圓五十錢以内にて販賣することを許可せられたき旨申出でたり然るに未だ其解決を見ざるに先立ちて一方所謂指定商人等は不都合にも

▲値段指定　を得ずして十二月二十七日より今二月上旬迄約一萬五千袋を百斤十圓五十錢乃至十二圓十錢に各地方及び府内小賣商人に放賣し二月九日に至り釜山府へ當局より九圓五十錢にて販賣すべき旨指令に接せり此間日子を費したるは遺憾のことながら既に其際は殘り僅に四千六百四十七袋にして此間不當利得を占たるのみならず同府内に於ては之が轉賣行はれ現相場

▲十四圓の　高値を示すに至りしを以て其筋に於ては各指定商人を呼出し取調べたる處孰れも從來持米百斤十四圓のものを管理米九圓五十錢と混合し割合値段十一圓乃至十二圓五十錢に放賣したる旨自白せり然るに管理米たるを表示せず又賣る旨錯疏せり然るのみならず却せる一片の酒醉なるのみならず斯くては政府の管理廉賣の趣旨を沒却するを以て二月十二日指定商人十一人に對し其筋は是迄賣却せる管理米の買戾しを爲し尙不足米は當値段にて更に鈴木商店なり其他より購入補充し普遍的に

▲下層民に　行渡る樣遣るべく嚴重に說示したるが其筋は何れも承服したり尙本外米殘余に對しては二月十三日より府内小賣商人は百斤九圓五十錢小賣商人は一升廿七錢で販賣することゝし各店頭に値段を明記する事となれり

◯鷲口瘡

＝京城市内に＝

蔓延の徵あり

徹底的の防疫をなすべし

廿二日京城屠牛場に於て一頭の鷲口瘡を見せられ大騷慌の折柄廿五日再び牛場に於て又復一頭の鷲口瘡を見せるに引續いて尙ほ一頭の病牛を發見せるに付直ちに隔離すると共に鍾路署に於ては病牛の所有者宅及び繫留場に對し

◇大消毒を　行ひたるが尙ほ續々發生の徵あるより警部一、巡査部長一、巡査二、巡査補二を以て病牛取扱係りを設け市内各飼牛家を巡廻して牛馬の健康狀態を調査せしむる一方新東門場、道牛場、牛乳搾取所、山羊乳搾取所、牛馬宿屋、驛鐵道牛場其他家畜ある場所に對し消毒方法を講じ其他家畜の繫留場並に豚舍に對しては警察官立會の上每週一回宛消毒清潔法を行はしめて

◇病毒の　傳播を豫防することせり尙ほ此外府内に通ずる東大門、東小門、西小門、光煕門、石橋、竹添町一、二、三丁目各派出所に命じて往來の畜牛に對し健康狀態を視察せしむる事とせるが牛馬宿屋に於ても向後宿泊する牛馬の年齡種類持主及び前宿泊所並に經過場所等詳細記入せしめて出入を明かにし萬一の場合に備ふる事とす

※京日講演會※

聽講隨意

一（演　題）一　我國と近代思潮

一（講　師）一　長瀧智大師

三月一日午後三時より開會す

……京城……日之出小學校に於て……

主催　京城日報社

◯運動シーズン來る

各地長棍の音に熱球唸る

起てよ。京城の好球兒よ!!!

三月が來た、凍てた土が春光に融けて運動季が來た、近く馬尼拉ではオリンピック極東大會が催される時に突如、外電は米國出征軍總司令官パーシング將軍の主唱で全聯合國陸軍選手を招待して戰捷記念の一大オリンピック競技を巴里コロンブス、スタデアムに五六月頃催すると云ふ壯擧を報じた、さても熱狂すべき好球兒や若い人達の意氣は灼熱高潮に達してゐる過般東京で催された日本體育協會のマラソン競走で東都の運動界は色めき出した

▽球界　は古例なる一高對三高戰は大體左の通りであらう一高軍の顏觸は

P	C	1B	2B	3B	SS	LF	CF	RF
內村	木內	島村	戶田	橋本	小田切	簑重	笹原	笹川

野球大會を春の序開き四大學リーグ戰に入る事になる一高軍の顏觸は大體左の通りであらう

▽四大學の陣容　は慶應を除いては大きな變化はない昨秋の難關に立つて全捷の榮譽を三田の戰史に彩つた松田主將が病の爲め不歸の客となつた慶應は一學期と主將問題、此二つの爲に惱んだと同時に球界の興味の眼は此同應の新陣容の上に注がれた、事實東都今春の野球界は慶應の强さ奈何が唯一の問題でなければならぬ勿論決定したのではないが聞く處に依ると新シートは

小新栗永森高鈴有高山松菅
野田　岡　須木中濱岡村井
P P C 1B 2B 3B SS LF RF

主將森の捕手は突飛のやうではあるが昨冬來、高松中學のコーチで二週間同地滯在中捕手としての練習を続けたと云ふし殊に昨今は肩も回復したと云ふから投手として、プレートに立つかも知れない、一塁手に松村が一番る其場合には永岡が捕手に就くと思はれる

▽早稻田軍　は市岡主將が昨秋戰ひ半に傷ついて郷里に靜養してゐたが今春は全く快癒したので見事なプレーを見せるだらう同大學は今春は瀬田選手一人を逐り出したら一層團結の强味が加はるだらうと豫期されて居る、法政軍は投手の上田選手が今年になつて森村銀行へ入る事になつたので林田君が引受ける事になるが未成品であるから井上主將の苦心は却々大きいに違ひない、同大學は六月井上主將初め武藤其他數名の選手が卒業するので秋の試合には大打擊を受けるであらう、四月初々にだすだけで大きな變動はない然し來年は市岡主將以下五名の大選手が卒業するので陣立が變るであらう然し多士濟々な早大には久慈、寺川二選手の外に十數人も補缺がある事だから心配はない、今年のシートでは三塁瀬田の後を久保田が襲ふくらゐの所であらう

▽明大軍　は小西西尾二選手とマネヂャー八代君が出てしまうが安藤選手主將となつて馬力をかけたなら一層團結の强味が加はるだらう

▽各地の球界　も色めき出して居る既に關西で神戶實業野球大會から白熱期に入つて行く遠く滿洲では滿日社主催の第四回東野球大會がアカシヤの伸び上り頭開かれる筈なので長棍の音に熱球を唸らしてゐる滿洲倶樂部實業團なぞの接戰が偲ばれる、翻つて京城の球界を見ると未だ冬枯の中に眠つてゐる、起て球界兒よ、

◯軍服で…

＝埋葬さる＝

福島大將葬儀

會葬者二千

從二位勳一等功二級男爵陸軍大將福島安正氏の葬儀は廿三日午後二時青山齋場に於て嚴かに執行された定刻前後の齋場内外は二千に餘る會葬者が溢れて頗る盛んな光景を呈した

△齋場前　の道路には山少佐の指揮する步兵一個中隊が整列し、屍、川口、中田、川村、秋山、山梨、大島各師團長、大將、林、三須、兒玉、大井、…[illegible]…將以下陸軍の諸星陸續として參會する、…[illegible]…林前北支公使、田中…少將、…[illegible]…に連れて來る、英大使グリーン氏の代理として大使館のソマゼル中佐、支那公使館武官代理…少將も來る、神尾大將等は機として

△正裝で　一々之を迎接する、やがて式場の設備了り一同席に著く祭壇正面には故人が死に臨んで『聽くせよ』と暗示する如く大尉に與へし筆と硯もて同大尉が揮毫せる銘旌を靈柩にかけ伏見、閑院、竹田三宮殿下御下賜の眞榊を其左右に供へ猶其次位に並べた榊には『禎親王』の名が讀まれた、親族席には白無垢姿の未亡人さだ子刀自哀れにも悲しく

△垂頭れ　喪主正一氏初め令息三郎四郎氏等前列に列ぶ、尙親族席の後方には故大將に薰生された人々三十五名中には將校も混じつて肅ましく參列した「敬禮」…[illegible]

昨夜出發の砌りは御多用に中も不拘遠路御見送被下奉謝候右不取敢以紙上御禮申上候

笠原寬美

同　米子

△愛育さ　れた青年將校の一團も皆涙に咽んで泣いた、祝詞の終ると同時に場外よりは喨々と儀仗の喇叭の音が『哀みの曲』を傳へ伏見閑院竹田三宮殿下御代理玉串を捧げら次いで喪主正一少佐拜禮、續いてさだ子未亡人が進むと『未亡人は大將を入棺する時是非軍服を着せたいと云はれ遂に左樣にしました』又日露の戰役に大將が

△携へた　鞭をも納められました』と此時秦大尉は記者に語つて深き感動の涙を浮かべてゐた續いて近親會葬者次に玉串を捧げ神尾將軍が親戚を代表して謝辭を述べ三時過ぎ式は果た斯くて故大將の遺骸は過ぐる日露役に戰死せる二男二郎中尉の墳墓に並べ午後四時軍服を着せて愛用の鞭を抱かせ儘青山墓地に埋葬された（東京）

◯●●本社講演會●●

＝三月一日日の出校にて＝

長瀧智大師を聘し

眞宗國柱會講師長瀧智大師は二十六日入城したるを以て本社は別項社告の如く同師の講演會を來る三月一日午後三時より日の出小學校に於て催す事となせり因に同師は田中智學師の高弟にして一門の雄識と稱せられ學德共に高き人な

乳の出る

妙藥發見!!

產後乳が出なく又は不足な程乳の出ない方は如何に困られても其子供を育てる母親の身にとつては第一可愛相な事です、牛乳ミルク等で育てるはなかなかお金が入り牛乳の上手數が大抵でありません又寒い時の加減は甚ひむよらぬ困難にて殊に赤兒の消化を悪くして段々痩せ細る一方です今度不思議によく出る乳の爲に難儀して居らるゝ方は乳の藥(乳の母)を發見しました一時も早く(ハガキ)にて左記出入れ誰にも解る乳の母の委しい說明書を無代にて進る

大阪市東區本町…[illegible]…東京下谷區仲御徒町二丁目…[illegible]

乳の母發賣所

百圓以上確實

歐洲戰亂今や平和の秋となり戰後經營第一福音として好農家諸彦に荷種子を分與し其收益を以て戰後國家の膨張に備へ此の如き收穫のあるものは一箇年三四十萬圓の收益を得る…[illegible]…

京城樂園洞二八四番

朝鮮薄荷製造所

支配人　川島爲吉　電話一四六六番

未曾有の大盛況

每夜八時には滿員

立錐の餘地なし

淚の家

◯每夜館内淚の海となる……

廿八日限り

黃金館

京日案内

普通七一一回前金（送料共）…[illegible]…

◎古本熱心高價買入　◎御報參上　本町二丁目　群書堂

◎是非御試買を乞ふ　電話三一九五番

代診藥局生至急入用志望者左記に申込まれたし　京城日報仁川支局

毛皮なめし並仕立

鳥獸剝製標本類調製　毛皮鳥毛剝製貿易商　島類手羽買入

京城本町二…[illegible]…　電話…[illegible]…

養鷄種卵種禽　養豚種豚

犬島農園

振替京城五三…[illegible]…京城東大門外東廟

乳母入用

仁川府寺町妙覺寺前

左記の所に御相談を乞ふ　工藤淳司

◯有給外務社員募集

希望者は急履歷書添へ申込あれ

京城大和町一ノ四六電話二八三七

日本徵兵保險株式會社京城支部

米一升十錢

專賣特許代用白米製法傳授

原料は馬鈴薯で頗る簡易だ

米の消費を節約し生活費を半額にし而も滋養に富むだ新常食が林未子女史に依て發明されてる頗る新案の務者が各縣へ技師を派遣して旺に栽培を獎勵してゐる馬鈴薯から美事な代用米が採れるドンナ高くとも一升十錢位で出來て十年の貯藏に堪ゆる簡詞にして飯に炊いても美味い此外酒や餠でも饅頭でも煎餅でも醬油でも菓子でも蒲鉾でも羊羹でも…[illegible]…

味くて減法安い理想的新食料が出來て其殘滓から澱粉が取れる所だ本一冊七十五錢送料四錢前金で農商務省農產課長伊藤農學士の誠明的序文が附いてゐる本代は家庭一日の節約で生れる然も此の如く忽ち六版を重ねた狀態の評判の方は早く一本を買つて家庭の改良を試みられよ（代金引替注文は金九十錢）

東京市芝區新堀町三二　國食改良研究會

振替東京四〇七二番

縣下獨專代理店支配人招聘

平和と生產の過剩!!!　物價大暴落

活動的商人!!!　金儲の最好機!!!

月收五拾圓以上貳百圓

內外社會的公共大事業

物價暴落整理商品部の活動開始

特約專賣店募集

創切の戰は幕を下したりと雖も平和の商戰は今漸く火蓋を切つたのである然り界の變亂より物價は大暴落を現し國內外に生產事業の大恐慌を來し朝に夕に商品は生產費の一分の値でも賣捌く…[illegible]…本社は此の大暴落の…[illegible]…內外の生產者と特約し全國の…[illegible]…を供給せんとす…[illegible]…用雜貨製造組合へ申込次第破格廉價格商賊案內書進呈すべし

日本とお話ます賣入

振替三貳二參　電話五二一番

京城本町　ウツボヤ書籍店

電話增設

從來使用電話の外更に左の通增設致候

電話三〇六五番

京城南大門通三丁目

農蠶具　肥料商

戶田藏本店

電話　三八六番　三〇六五番

振替京城五…[illegible]…

京城府明治町二丁目（本町江戶川橋寄り入る）電話三七八番

內科　小兒科　入院隨意

中島醫院

チブテルミー科（靜脈注射）

院主　中島貞信

醇美淸酒

金露

發賣元

京城南大門通り二丁目

大塚合名會社京城支店

電話四〇一番　振替京城五七〇番

◎滿鮮支店所在地　釜山、平壤、安東縣、大連

◎到る處酒店雜貨店に販賣せり

京城明治町二丁目（元明町）電話一一七三番

皮黴科　肛門科

皮膚病　黴毒　痔疾　肛門病　淋病

入院隨時診察自九時マデ◎院長在院日京の處一月下旬歸院

佐藤病院

資本金壹千萬圓

頭取　安田善三郎

京城本町壹丁目

株式會社　百三十銀行京城支店

電話　五八一・一一二二

振替貯金　京城一二三七

外國爲替取組

一般の業務精々御便利に御取扱申候

內地各方面並朝鮮樞要の地に有

二十六日の四月限

仁川米豆取引所

…[illegible]…錢より五十五錢四錢五錢六錢…[illegible]…

…[illegible]…じたるが安値は賣物續か…[illegible]…現れ十八錢と三十二丁の暴落を演じ…[illegible]…錢と引返し散會

◯天氣豫報追報

曇後晴

母と子 (百十八)

北島春石作 森田久畫

梅の下風(三)

直樹は詑しげに微笑した。

『いや、志保子はみづから進んで結婚した譯でない。俺には彼女の心がよく推察されるで、何うか親方も怨んでくれるな。』

『へゑ、俺にだつて大方はそれと悟れぬ譯ぢやありませんが……』と、植惣は幸枝を戀しげに見おろして『今までは片親があつただけでも勝しだが、到頭兩親にまでお離れなすつたと思へば、意地も張も抜けて唯不憫さに泣けるばかりでさ。』

『しかし、幸枝には俺と云ふものもあれば、植惣夫婦と云ふ保護者もあるで、兩親に別れた後も無事に日が送れるだけが切めてもの幸福ぢや。なあ、親はなくとも子は育つ、前も三年を過ぎたらば、確已も多少の成功を贏得て朝鮮から戻らうで、今後必ずしも不幸とのみも斷言されまい。』

『ところが、あの奧様が他家へ御縁付なすつたからは、何處まで行つても片親の不運は脱けられません。』

『さうぢや、それが何よりも不愍には思はるゝが、然うなるべきが宿世から定まる運命と諦める外はない。』

『だが、森泉の先生。』と、植惣は緣先から座敷へと踏込んだ『宿世から定まる運が何うの恁うのと言はねえで、元の通りに親子三人が打揃ひ、睦じくお暮しなさる巧い工風がありやすぜ。』

『うむ、それこそ願つてもなき幸ひぢやが……俺の考へではまづ覺束なからうと思はれるがなあ。』

『何有、楠や孔明ほどの智慧者ぢやねえが、一切合財お任せなすつたら、この植惣が手際よく納めて御覧に入れます。』

『さうなれば、幸枝の歡悦はこの上もあるまいが、親方の一存にのみ任せる譯にも行くまい。』

『よるさ、俺の遣付ける事を不安心にお思ひなさるんで。』

『いや、それ程の不信用ではないが、兎に角その方法を聞かせて貰はう。』

『露西亞にや虚無黨とか虚無黨とか云ふものがあつて、何でも破壞主義を遣つ付けるとか聞きやした。それからチヨロッと考へ付いたんだが、これから直ぐと神崎の邸へ乘込み、主人でも姑でも構はねえから面と打付かり、お前達や誰が承知で嫁に貰つたか知らねえが、志保子と云ふ婦人にや前夫もあれば可愛い娘もあるんだ。それを知らずに濟まし込んでると、今にどんな紛擾が湧き上らねえとも限らねえから、唯今綺麗サッパリ離縁をして貰ひ度ねえもんだと打明けるんでさ。さうしたら、先方も吃驚して中洲の實家へ戻すに相違ねえ。先生、俺の計略は悪くありやすめえ。』

『ふむ……そこまで破壞主義に出たならば、親方の考へ通りに事件が運んで、幸枝は片親とならずに濟むであらうが、俺には些と賛成が出來兼ねるのぢや。』

『へゑ。』と植惣は不審顏『そいつは又何うした譯ですかい。』

『なあ、志保子が自ら望んで神崎家へ縁付き、この幸枝を忘れたのならば、さうした復讐的手段を講ずるも痛快ぢやが、親のために已むなく犠牲になつた憐れな苦衷も察してやらねばならん。で、いつでも破壞主義を執ることは出來るから、その前に俺が一度志保子に逢ひ、眞心の底を傾けた意見を聞いて見ようと思ふ。猶その上に熟考して、親方の分別も借りることにしようではないか。』

『なる程、さう伺つて見れば道理だ。』と器用に頷きはしたが、幸枝を見れば又突詰めた考へが起つて『何だつて奧様は急に御縁付きなんかなすつたんだらう。これぢや百日の説法も何やら一つで、三年の苦心も水の泡だ。』

『それを思ふと俺も殘念であるが……何事も運命と諦めて、まづ、こゝ暫時は日和見をすべしぢや。』と言ひつゝ、直樹は幸枝を見やつた。

『然し、早う親と別れた子は、何處やら悄然して居るのが不愍でならぬ喃。』

男子の服装(上)

◇地質は平地か綾地
◇益々地細が表れる

近來男子の服装が、漸く柔弱になるとの評で何の兆かと大分非難の聲が聞ゆる、

◇實際 全くその傾向は、確かにある。商賈人も夫れは、敢て否定はしない、併し思ふに、是れは機業界の進歩が、偶、金廻りの好い粹人に因つて、著しく實現されたので詰は、一部の傾向に過ぎない、之を以て一般男子の精神まで萎靡した樣に言ふのは少し

◇極端 かも知れない、兎に角今の男子の流行の粹を蒐めた服装と云ふものは、何う云ふのであらうか、此處に某呉服店で調べたその一通りを記して見やう、上等品流行の地質は各店に因つて名稱は多少違ふが、兎に角京都、八王子、桐生等の產で、綾地の物と平地のものとあるその中綾地物は

◇目下 の處萬人向きで、綾地にはモウ倦たと云ふ贅澤者が平地物を好んで著る平地と云ふのは元の南部の織方に改良を加へたものだ綾地は成るべく地細に綾み細かくのした一見御召縮緬のやうな何處までも率心地の輕さうなもので價は兩方とも二十五六圓から四十圓前後までいろ〳〵ある總じて

◇近頃 は木綿物に寛ぎ、地細の物人の好みが出來るだけ、地細の物にと向つて往く、是れは女物が地細物を好むのと比例して、往くのに、流行は何時も此調子を以て、男女離れずに移り變つてゆくものであると商賈人は言つて居る(東京)

花壇の手入

‖種子蒔と移植根分‖

雪解と共に天地は清明の氣に包まれて庭の梅も綻び初め寒ほけも連翹もつぎ〳〵に咲く事でせう

△温室 花としては菫、遊蝶花、鈴蘭など可愛い花を見受ける樣になりました、而し何といつても今の間に空地になつて居る花壇を是非掘り返して置かねばなりません、そして種子や害蟲の冬越して居るのを掘り出て死滅させるとよいのです。打返す内に年々耕土が深くなるので空氣や光線を通し土壤の風化や、肥料の分解や種々な作用がこの間に行はれます之は

△夏花 や秋咲く花を見る花壇の手入れですが同時に苗床には金蓮花、鷄頭、あらせいとうなどの種子蒔きもこのごろにするがよいのです。それから桔梗、石竹、花菖蒲、わにしだ等は移植根分けをします。野菜類では胡瓜、茄子の種子蒔きや馬鈴薯は種薯の植込時です、それから果樹は勢力の衰へて居るか如何かをよく調べて弱つてゐるやうなのは鍬を入れてむだ枝を拂ひ

△根元 を耕して水肥を與へておかねばならぬのです楓、海棠、櫻、柳、藤、木蘭、竹類、櫻桃、林檎などを移植せうとするなら此月は冬芽が鱗片を脱いで若芽を見せる時で勢力のよい時ですからよいのです。

京城本町 千代田號印舖 電話八九〇番 九八七番

我等の俳句

草萠 五の日十の日會

○老人よ湯浴ながければ草萠ゆる也 浮舟樓
○よしもなくたそがれの草が萠ゐ女に逢ふのだ
○草萠ゆる羅紗服羅紗くさきいつはりの如し 不孝郎
○草萠け放し女素足の音立てず
草萠女等眞向の笑顏に苦しめられます 汀 渚
○草萠ゆる金盥拋り出してあり
○草萠の原をあちらに動く女です 宙 字
○草萠ゆる囚人に看守の眼が鋭ごく 烏鶴城
○牧場裏の萠草このまゝにはすむまい 豐
○削つても削つても折れる色鉛筆の草が萠ゐてるんだ 阿岐良
○ちろちろ火よ夜のずぶくれの土の草萠
○窪地草萠味がついて來る 烏 堂
部かに草萠の雨催ひの空が分れる

五の日十の日會の一發展として京日俳壇を廢んで本欄を設き『我等の俳句』に興味ある諸子の作品を歡迎す 原稿は直接市内和泉町七中村烏堂宛の事

日報柳壇

劍花坊選

歌かるた

廿點が多數を制す歌がるた 烏石
子に負けていつそ喜ぶ歌留多 同
歌がるた戀の仲立さるゝなり 琴平坊
姫君の顏猿に似る歌がるた 如風
歌がるた今一たび云ふ更ひ 若紫
かるた會優退をして眺める 高[illegible]
かるた會天窓が邪魔な近視眼 柳娃
妹はかるた姉のは戀にして 同
か取る平気似で揚ろ灰神樂 篠[illegible]
花鋲が恭う汲くで來るかるた會 同 思

投書の領分

△二十三日の晩本町の某呉服店へ買物に行き居りしに一婦人來り番頭に向つて曰く此のメレンスは今日買ひましたがこんなきずがありますから どうか代品を頼みたい 番頭はそれは困りました暫くしても番頭返事をせんので婦人は替へてもらへませんかと尋ねると番頭曰く私方も問屋から買つたので[illegible]

寫眞

[illegible]

淋病患者の福音

新藥エルモールの發見 富士製藥會社の名譽

男子の淋病

若い青年の出來心から、又は世間の交際上、一寸花柳界に遊んだ四五日目から、何だか妙にムヅ痒い樣な心地がして又時々蟻が這ふ樣な痛さも感じ、次第に黄色な膿が出て來る、漸々小便を催すが其の度毎に痛い。これが急性淋病の症狀である。それを外聞が惡いと治療せずに捨てゝ置くと何時しか痛みが薄らぎ膿も少くなり素人目には殆ど全快した樣な心地になる、が酒を飲むとか時候の變り目などには又元の急性淋病の樣に再發して來て非常に苦しむ、これを慢性淋病と云ふ

女子の淋病

女子の淋病即ち俗に云ふ消渇は男子の淋毒が感染して起る病氣だが、男子のそれ程痛みは烈しくない、只腰や下り物を見、非常に寒けがして腰が冷ゐる、これが段々進んで女の最も嫌ふ所の恐ろしい子宮病になるのである、幸に其れが全快しても、もう懷胎する事能はず離縁されたり冷やかな家庭に一生を泣いて暮す事になる、故に、もし夫が妻に傳染せしめた場合は夫婦同時に治療せねばならない。夫婦がお互に秘密にして別々に治療してゐると夫が全快しても妻から傳染し、妻が治つても又夫から傳染して何時まで經つても全快せず立派な慢性にして仕舞ふ事になる

慢性の危險

慢性淋病程困つた病氣はない。自分では殆ど全快した氣でゐるから不知不識相手に傳染させるし、ウッカリ其の毒が手に付いて眼に入れば一夜にして盲目になる風眼を起すし、足の節々に淋毒が廻れば跛、殊に男子の淋毒內行して睾丸炎を起せば其の苦しさ痛さは紙筆の盡し能はざる所、幸に其が全快しても最早妻をして懷姙せしむる事能はず、先祖の祭も絶たれて了ふ。されば今其程の病苦はない慢性患者でも左記新藥の發見を幸ひ此際一日も早く之が根治を計るべきである

療法の比較

現今淋病の療法に三種ある。其の一は洗滌療法でよく專門病院で行はれるが、不熟練な醫師が行ると彼の恐るべき淋菌をだん〳〵奥の方に追込む危險がある、況んや素人が洗滌するのは絕對に避けねばならぬ。其の二は注射療法で學理としては最新のものであるが未だ研究中のもので効果は尚評すべきでない。其の三服藥療法で昔から行はれてゐる方法であるが前記の如き危險がなく最も安全である、只淋病の藥は多く惡臭を發して飲み惡い許りでなく、其効果も遲緩であつて、一ケ月も二ケ月も服藥せねば全治せしむる事が出來なかつたのは甚だ遺憾であつた

新藥の發見

そこで富士製藥會社の研究室にて該部の醫學博士藥學士以下一同が熱心研究の結果、淋病の新藥エルモールと云ふを發見した。動物試驗の結果も僅々卅分時にして速効あり、殺菌力強く惡作用なく理想的の治淋藥として最近醫學界にも確認され專門醫師にもドン〳〵賞用されて來た。これ會社の大なる名譽である。然しこれは賣藥でないから、一般世人の自宅用として効能書を附して發賣する事が出來なかつたが、今度右新藥を錠劑として藥品許可を受け一般に賣り出したのである。故に今後は醫師に掛らずとも此の効能顯著の治淋藥を飲む事が出來る樣になつたから患者は自宅に於て秘密に人知れず治療する事が出來る。尤も右エルモール錠は藥の效力が猛烈であるから服藥後一時間後に更にフジコールと云ふ藥を飲んで之を緩和せしめる事になつて居る、斯くの如く醫學を應用し恰も專門病院に入院して治療する樣な至れり盡せりの療治が自宅で出來る樣になつたのは同會社のメイル・オーダー部の特色である。それで其藥價はと云ふとエルモール錠百個入(略一週間分)金二圓八十錢服用藥フジコール同量金二圓合計四圓八十錢であります。チト藥價が高い樣ですけれども、醫師に掛るよりはズット安く且つ秘密に治療が出來る特色がある。尤も七日分の小瓶もあるが、夫れでは餘程の輕症でないと全快が覺束なく、二度目の註文をする暇に治り掛けた病氣が後戻りする事になるから急性の人や輕い慢性の人々には是非この四圓八十錢分をお勸めする。それからても全快せぬ最も頑固なる慢性患者又是れまで有らゆる治療に手を盡した人の爲めに前記兩藥の外更に富士三十一號治淋藥を添ゐる。かく三藥併用すれば最新學理コンビナチオンス、メトーデの實施となり尚一層速治する事が出來る、故に此三藥三週間分を一週分宛用ゐるが御利益である

註文の方法

御註文の方法は振替貯金又は郵便爲替にて藥價御送金次第說明書患者の心得を添へ直に送藥します。又ハガキにて申越次第藥價は代金引替にて御送りしても宜しく又急性淋病は一日も早く服藥を要しますから電報で御註文下されば代金引替にて直に送藥します、此場合電報文は左の如く御記載を願ひます

宛名 カンダヲガワマチ
名 フジセイヤクカイシヤ
電文 エフ〇ナニムラナンバンチ ンノダレ

右のエフ〇の三字でエルモール錠フジコール代金引替で送れと云ふ暗號です。其の下に御住所氏名御詳記を願ひます。かくの如く簡單な手續で諸君は彼の恐るべき淋病を簡易に秘密に――迅速に治癒せしむる事が出來ます。熱い汁に舌を燒いて膾やお刺身迄も吹いて食べたと云ふ譬へもあるが、無責任な賣藥に懲りた諸君も、是非一度は此新藥を御試みあれ、どんなにひどい淋病でも夢の如く速治する事は當會社の名譽に掛けてもウソ偽は申上げませぬ

東京神田小川町二八 富士製藥株式會社 電話神田三一三〇番 振替東京一八八一番

駿河臺下で電車を降りるとすぐ眼の前に聳へ立つ三層樓が當會社です

大阪財界便り

[illegible]

MITSUWA YUKINO SHIZUKU.

(Eau de neige)

Skin tonic, strengthening and beautifying the skin. Mitsuwa Yukino Shisuka (Eau de neige) is of supreme value in the care of the skin. It cleanses the pores, brings the blood to the surface, stimulates the small, muscular fibres and preserves the tender, delicate skin. If Mitsuwa Yukino Shizuku is applied every day, the skin will not be harmed by the sun and the complexion will be bettered.

Price ¥ .40

肌膚を柔軟にし色艶を麗しくする芳香健膚藥

○ミツワ雪の雫

効能

皮膚を強健清潔ならしめ、皮膚乾燥、皮膚剝脱、皮膚龜裂、皮膚皸裂、凍傷、火傷、乳嘴の小傷、擦過傷、雀斑、脂漏、痤瘡、毛嚢炎、濕疹、蕁麻疹、粃糠疹、苔癬、白癬に効奏す

本劑は芳香馥郁たる健膚藥で、日常之を用ふれば肌膚に留る黴菌を殺し其の發育を抑へ、隨つて腐敗を防ぎ臭氣を消し、肌膚の硬くなつたのを溶かして

▲肌膚を柔軟に潤澤になし

肌膚から出る脂肪を除いて清潔になし、肌膚を緊めて緻密になし即ち肌理を細かにし、肌膚の血行を良くして其の色澤を麗くし、皮脂や汗の餘分に出るのを制限し、肌膚を包み護つて外から來る刺戟を緩げ

▲肌膚の乾燥を治し

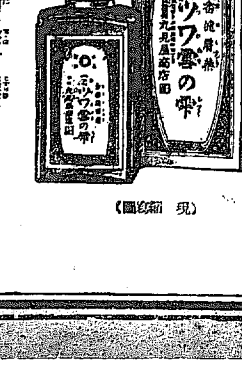
龜裂などを防ぎ、黴菌や毒物の入込むのを止め尚肌膚の榮養を旺盛にして、健康な肌膚の新しく出來ることを促すから、前に述べてある諸種の皮膚病に良く効き、肌膚を健強く清潔にするのであります。又

▲白粉を塗る前に

肌膚をミツワ石鹼で洗つてから、之を擦込むやうに塗り、暫く經てから湯水で堅く絞つて手拭で抑へるやうに輕く拭取り、それから白粉を塗るとのりものびもよく、生々とした化粧が出來る肌膚になります。

◆肌膚を整へる藥液

美しい上にも美しく化粧するのは誰しも望むところですが唯紅や白粉を塗たゞけでは其の美は得られません、何でも土臺が肝腎ですが化粧も同樣に、平素から土臺の肌膚を整へるのが大切で、畢竟化粧の秘訣は肌膚を整へることであります、それには肌膚を大切にし、日々の入浴、每朝の洗面、化粧の都度、品質が良くて刺戟が無く日本人の肌膚に適つてゐるミツワ石鹼を使ふことに定めて、肌膚の汚垢を落としてから、芳香の馥郁たる健膚藥のミツワ雪の雫を手に擦込むやうに塗り、暫時して湯か水で緊く絞つた清潔な手拭で、輕く抑るやうに拭取ると、肌膚が整へられ滑かになり、肌理は細かく色澤は麗しくなり、小皺を防ぎ、汗を吸込み[illegible]、した化粧が出來ます。而して白粉も塗ればのりものびもよく、生々とした化粧が出來ます。それ故美しい上にも美しくなるには、常に土臺の肌膚を整へるやう、ミツワ雪の雫を缺かさず用ひる事が最も肝要であります。



定價 金四拾錢 内地以外は關稅運賃を加ふ

(現品縮圖)

Scientific Research Made

MITSUWA GINSENG TABLETS.

100 tablets ¥ .50
500 tablets ¥ 2.00

This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochonderia, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only it improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

酒井醫學博士の實驗的研究に根基せる

○ミツワ人參錠

効能

神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦充血、腦炎、貧血、老衰、榮養不良、精力減退

醫學博士酒井和太郎氏はミツワ化學研究所に在つて漢藥人參を實驗的に研究し、鎮靜、催眠、利尿、强壯等の諸作用を呈することを證明せり、ミツワ人參錠は同博士の研究を基礎とし、合理的に精製せるものにして、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー及び是等の疾患に現はるゝ諸症狀、即ち精神興奮、精神異常、意志薄弱、注意不能、思考力判斷力記憶力減退、睡眠不安、消化不良、心悸亢進、手足厥冷、精液漏、陰痿等に對して偉効を現はし、頭痛、偏頭痛、眩暈、貧血、腦充血の如き神經系疾患を治し得べく、之を腎臟炎、尿異常、浮腫、胃腸病、子宮病、諸種傳染病等に因る貧血並に榮養不良を回復し、神經病、其他の苦惱を除き、分娩前後及び結核、瘰癧、腦梅毒等の病後に頭腦を明晰にし、意氣を旺盛ならしめ、又精力減退即ち精神の困憊並に筋肉の疲勞を癒し、體力を增進し、老衰の諸因を去る等の卓効を奏す。

ミツワ人參錠適應諸症候

一、神經衰弱 頭痛、頭重、眩暈、耳鳴、難聽、眼精疲勞、頭內朦朧、心悸亢進、記憶力減退、判斷力減退、不眠、口渴、噯氣、胃部膨滿、食慾減退、皮膚灼熱、手足厥冷、便通不整、皮膚色澤異常、遺精、陰痿、身體羸瘦、生殖器感覺異常

一、ヒステリー 頭痛、耳鳴、難聽、視力減退、精神錯亂、心悸亢進、思考力減退

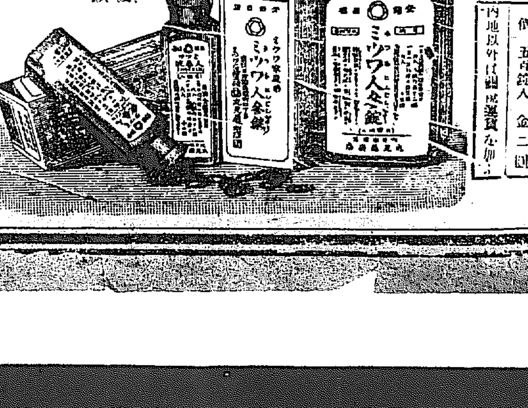
一、ヒポコンデリー 膨滿、腹痛、嗳氣、吃逆、胃痛、皮膚知覺異常、浮腫、皮膚蒼白、筋肉痙攣、神經痛、卵巢の痛み、疾病恐怖、疑懼不安、消化不良、腦貧血、頭痛、耳鳴、心悸亢進、難聽、眩暈、失神、不眠、悪心、嘔吐、思考力減退

一、貧血 頭重き、頭內朦朧、耳鳴、難聽、眼花閃發、眩暈、心窩部壓迫、心悸亢進、嘔吐、不眠、顔面潮紅、悪心、失神、筋肉攣縮、苦悶、譫語、精神異常、卒倒

一、腎臟炎 尿潤濁、尿量減少、尿變色、血尿、蛋白尿、排尿頻數、利尿困難、皮膚蒼白、浮腫、皮膚瘙痒、頭痛、視力減退、心悸亢進、鼻出血、眠不安、嘔吐、口渴

一、精力減退 腔乾燥、舌粘稠、嘔吐、便通不整、食慾減退、精神困憊、筋肉疲勞

一、老衰 頭痛、耳鳴、心悸亢進、睡眠不安、食慾減退、胃部壓重、胃痛、便秘、皮膚蒼白、浮腫、月經不順、月經減少、動脈硬化、皮膚彈力缺乏、筋肉萎縮、骨質脆弱



定價 百錠入 金五十錢 五百錠入 金二圓 内地以外は關稅運賃を加ふ